

文化交流センター新築工事

電気設備 図面リスト

図面番号	申請	図面名称
E-000	●	図面リスト
E-001	●	特記仕様書（1）
E-002	●	特記仕様書（2）
E-003	●	配置図
E-004	●	高圧受電設備 単線結線図
E-005	●	幹線・動力設備 系統図・幹線リスト
E-006	●	発電機設備 仕様書・参考姿図
E-007	●	発電機設備 計算書（停電時）
E-008	●	発電機設備 計算書（非常時）
E-009	●	防火区画貫通標準図
E-010	●	動力標準結線図
E-011	●	動力制御盤リスト
E-012	●	電灯分電盤リスト（1）
E-013	●	電灯分電盤リスト（2）
E-014	●	電灯分電盤リスト（3）・端子盤リスト
E-015	●	幹線・動力設備 1F平面図
E-016	●	幹線・動力設備 RF平面図
E-017	●	電灯・非常照明・誘導灯設備 器具参考姿図
E-018		電灯設備 1F平面図
E-019		電灯設備 RF平面図
E-020	●	非常照明・誘導灯設備 1F平面図
E-021		コンセント設備 1F平面図
E-022		コンセント設備 RF平面図
E-023		電話・情報設備・TV共聴設備 系統図
E-024		電話・情報設備・TV共聴設備 1F平面図
E-025		電話・情報設備・TV共聴設備 RF平面図
E-026		トイレ呼出・ITV設備 系統図・参考姿図
E-027		トイレ呼出・ITV設備 1F平面図
E-028	●	放送設備 システム図・参考姿図
E-029	●	放送設備 1F平面図
E-030	●	自動火災報知設備 系統図・参考姿図
E-031	●	自動火災報知設備 1F平面図
E-032	●	自動火災報知設備 RF平面図
E-033		温湿度監視設備 地下ピット・1F平面図

文化交流センター新築工事

電気設備工事

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

福岡県京都郡みやこ町豊津津島鳥1118番2の一部

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	施設の種類	備考
文化交流センター	※建築図参照	平屋建て	※建築図参照	1 項 (ロ)	特定の施設	新築

3. 工事種目及び工事科目

(・に○印の付いたものが対象工事)

建物別及び屋外	工事種目				屋外
工 事 科 目	新築				
○ 電灯設備	一式				
○ 動力設備	一式				
・ 電気自動車用充電設備					
・ 電熱設備					
・ 雷保護設備					
○ 受変電設備	一式				一式
・ 電力貯蔵設備					
○ 発電設備	一式				一式
○ 構内情報通信網設備	一式 (空配管のみ)				
○ 構内交換設備	一式 (空配管のみ)				
・ 情報表示設備					
○ 映像・音響設備	一式				
○ 拡声設備	一式				
○ 誘導支援設備	一式				
○ テレビ共同受信設備	一式				
○ 監視カメラ設備	一式				
・ 駐車場管制設備					
・ 防犯・入退室管理設備					
○ 火災報知設備	一式				
・ 中央監視制御設備					
○ 構内配電線路	一式				
○ 構内通信線路	一式				

4. 指定部分

○ 無 ・ 有

II 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、・に○印がついたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)

○ 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は (・に○印の付いたものを適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、・に○印の付いたものを適用する。

項目

特記事項

1 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・ 風圧力
風速 (V₀ = 34)
地表面粗度区分 ()
・ 積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表 (38)

2 特定建設資材等の処理

・ 本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行なう。

ただし、工事契約後にやむをえない事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議する。

分別解体・再資源化等の完了時に、以下の事項を書面にて監督職員に報告する。

1) 再資源化等が完了した年月日

2) 再資源化等をした施設の名称及び所在地

3) 再資源化等に要した費用

分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	・ 手作業
・ 増築	・ 有	・ 手作業・機械作業併用
・ 修繕	・ 無	
・ 模様替		

・ 特定建設資材廃棄物の種類と再生資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再生資源化等をする施設の名称	所在地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

3 発生材の処理等について

・ 特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理等
・ 引渡しを要するもの (・金属類・電線、ケーブル類)
・ 取り外した状態のまま引渡しを要するもの (・あり (対象は図示による) ・なし)
・ 特別管理産業廃棄物 (・PCB使用機器)
・ PCB使用機器の有無については、調査を行い結果を監督職員に報告する。
PCB使用機器は関係法令等に準い適切に処理する。
・ 再生資源化を図るものは下記とし、再資源化費用は別途とする。
(・蛍光灯・白熱灯・小型二次電池)
・ 引渡しを要するもの及び再生資源化を図るもの以外は、構外搬出適切処理とし、搬出処理費は別途とする。
・ 発生材一時保管・集積場所
○ 構内に有り ・ 構内になし

石綿含有分析調査を (・本工事・別途工事) にて行う。

搬去方法は (・図示・) による。

(1) 本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号) に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を環境物品等を選択するように努める。ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用しものとする。

(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 別表-1に材料・機材等が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し、監督職員の承認を受ける。

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

測定対象室及び箇所数は次にによる。

測定対象室	箇所数

最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。

構内につくことが ○ できる ・ できない

・ 設けない
・ 設ける (・既存の建物内の一部を使用する。)
(・面積規模・10・20㎡程度)

・ 契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
・ 本工事で設置する。(・) 図による。

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」における20(2)手すり置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・ 内部足場 (・種・種)
・ 外部足場 (・種・種)
・ 建築工事で設置する。
・ 機械設備工事で設置する。

改修標準仕様書によるほか、下記による。

事前調査 (○ 本工事・)
事前調査項目 (・ 既存資料調査)
調査範囲及び方法 (・ 図示)
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告すること。

仮電源 (・受変電・発電)
仮設期間 (・図示)

・ 構内指示の場所に数なし ・ 構内指示の場所にたい積 ○ 構外搬出 (約 k ㎡)
・ 再利用を図る

分類	受け入れ施設名	受け入れ場所	搬出距離
建設発生土			

上記に示す受け入れ場所・搬出距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する。

設備機器の固定は、施設の種類並びに機器の種類、重要度及び設置箇所に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。

(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は 1 である。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	○ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1 階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

(注) 上層階の定義は次にによる。

2～6 階建の場合は最上階、7～9 階建の場合は上層 2 階、10～12 階建の場合は上層 3 階、13 階建以上の場合は上層 4 階
・ 中間階とは地階、1 階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・ 水槽類には燃料小出タンクを含む。
・ 重要機器は次のものを示す。

・ 配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置 ・ 通信総合盤

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の 1/2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。

想定沈下量 (・小規模・中規模・大規模)

配管引込部の地盤変位への対応

17 既存躯体への穿孔

18 非破壊検査

19 撤去後の補修

20 配線本数、管路等

21 厚鋼電線管の溶融重鉛めつき仕上げ

22 形状・寸法等

23 屋外の支持金物

24 露出金属配管の塗装

25 呼び線

26 フラッシュプレート

27 表示

28 再使用機器

29 電路の保護

30 照明器具の接地

31 発電機回路コンセント

32 インバータ装置の規約効率

33 壁紙の塗装

34 外灯ポール

35 地中埋設機

36 標識シート

37 基本料金

38 接地極

39 機器取付高さ

40 図中の配線記号

41 他工事又は他工種との工事区分

原則として、穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。

なお、範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。

壁付け器具、床置き機器、天井付け機器の撤去跡の取付ボルト孔、壁面、天井面の変色等は監督職員と協議して補修を行う。

分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径等は、図面と相違しても差しつかえない。ただし、相違する場合は監督職員の承諾を受ける。

厚鋼電線管は全て溶融重鉛めつき仕上げとし、めつき付着量300g/㎡以上とする。

変図の形状寸法等は参考とし、図示と多少相違してもよい。

屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶融重鉛めつき仕上げ又はステンレス鋼製とする。

○ 屋外 [○あり (塗装範囲は図示による) ・なし]
○ 屋内 [○あり (塗装範囲は図示による) ・なし]

長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合 (○ 金属製 (ステンレス、新金属を含む) ・樹脂製) とする。

スイッチ・コンセント・ブランクプレート及びプルボックスなどで用途の判別し難いものは、表示する。ハンドホール・マンホールのふたは、用途別に「電力」「通信」と表示する。

取外し再使用機器は、性能確認のため絶縁抵抗測定を行う。

特記のない引き下げ部分及び露出部分の配線はMM1 (A型) にて保護する。貫通部分の配線は、金属管などに保護する。

コードペンダント以外の放電灯器具、LED照明器具及び水気のある場所の自然灯器具は、接地する。なお、金属管配線の場合は、配管を利用してよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具 (27W以下) を除く)

発電機回路に接続されるコンセントは、回路別が識別できるものとする。

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率 (%)	200V 86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
規約効率 (%)	400V 87.0	90.5	93.5	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	96.0	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5

備考) (1) 規約効率は、JEM-T245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。

(2) 0.4kWの効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧 200V (上段) ・400V (下段) IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

(3) 0.75kW以上の効率は、JIS C 4213「低圧三相可変速電動機-トランジスタモーター」の定格電圧200V (上段) ・400V (下段) IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

鋼板製キャビネット (溶融重鉛めつきを施すものを除く) の塗装は、指定色仕上げとする。

外灯ポールは、垂鉛付着量350g/㎡ (JIS H 8641「溶融重鉛めつき」に規定するHDZ35) 以上の溶融重鉛めつきを施し、エッジングプライマー、指定色仕上げとする。

下記の地中埋設機を設ける。材質及び個数は図示による。

○ 電力用 ○ 通信用

標準仕様書によるほか、低圧地中幹線及び通信地中幹線にも設ける。

本受電後の基本料金を下記のとおり負担する。

契約種別―― 契約電力―― 期 間――

接地極の材料は、下表による。

(E Bは、D=14、W=40、L=1,500)
(測定用E Bは、D=10、W=30、L=1,500)

	接 地 の 種 類	記 号	接 地 極	
			E P-0.9	1 枚以上
電 力	共 同	E A・C・D	E B	2 本以上
	A 種 (第1種)	E A		6 本以上
	B 種 (第2種)	E B		2 本以上
	D 種 (第3種)	E D	E B	1 本以上
	C 種 (特別第3種)	E C		6 本以上
通 信	漏電遮断器回路用	E L0		1 本以上
	構 内 交 換 機 用 直流電源装置 (陽極) (10Ω以下)	E 1	E P-0.9	1 枚以上
	保 安 用 (10Ω以下)	E A 1	E B	6 本以上
	保 安 用 (100Ω以下)	E D 1	E B	1 本以上
	拡声増幅器 (100Ω以下)	E D 1		1 本以上
雷 電 護 理	電話引込口の保安器用 (100Ω以下)	E 1	E B	1 本以上
	雷 保 護 設 備	E L A	E P-0.6	2 枚
	高 圧 避 雷 器	E L H	E B	6 本以上
	測 定 用	E D	E B	1 本以上

図面に特記なき場合は、表-1による。

図面に特記なき場合は、表-2による。

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

表-1 機器の標準取付高さは、図面に特記がない場合は、下表による。

名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)		
電力共通	積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	壁掛形時計	床～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200	子 時 計	〃	天井高×0.9	
電 灯	分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	拡 音	壁掛形スピーカ	〃	天井高×0.9
	スイッチ	〃	1,300	マルチサイン	壁付アッテネータ	〃	1,300
	スイッチ (多機能H/I)	〃	1,100	情報表示盤	〃	天井高×0.9	
	壁付コンセント (一般)	〃	300	壁 付 発 信 器	〃	1,300	
	〃 (和室)	〃	150	ベル・ブザー・チャイム	〃	2,300	
	〃 (台所)	台上～中心	150～200	壁付押ボタン (一般)	〃	1,300	
	〃 (土間)	床上～中心	800～1,300	外部受付用 (ハコ (子機))	標準図による		
	〃 (電動車椅子用)	〃	900	壁付呼出押ボタン (多機能H/I)	〃	1,300	
	ブ ラ ケ ッ ト (一般)	〃	2,100～2,300	壁付表示灯 (多機能H/I)	〃	900 (400)	
	〃 (頭灯)	〃	2,000～2,500	壁付表示灯 (多機能H/I)	〃	1,500	
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150	壁付表示灯 (多機能H/I)	〃	2,300		
助 力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	壁付ハコ (ハコ) (ハコ)	〃	300	
	開 閉 器 箱	〃	1,500	〃 (和室)	〃	150	
	制御用スイッチ	〃	1,300				
	警 報 盤	〃	1,800	テレビ端子 (一般)	〃	300	
雷 保護	試験用接続端子箱 (屋内)	床上～下端	800	テレビ端子 (和室)	〃	150	
	試験用接続端子箱 (屋外)	地上～下端	800	機 器 収 容 箱	天井下～上端	200	
受 電 電 圧	接地端子箱	床上～中心	500	機 器 収 容 箱	床上～操作部	800～1,500	
				〃	〃	800～1,500	
発 電	給油ボックス	地上～注油口	1,000	発 信 機	床上～中心	800～1,500	
				警報ベル	〃	2,300	
構 内 交 換	端 子 盤 (室内)	床上～下端	300	表 示 灯	〃	2,100	
	集合保安器箱	天井下～上端	200	ガス検知器 (都市ガス用)	天井面～中心	天井面～300 (壁付けの場合)	
	壁付ハコ (ハコ) (ハコ)	床上～中心	300	ガス検知器 (液化石油ガス)	床上～上端	300	
	〃 (和室)	〃	150	接地極埋設機	地上～中心	600	
	壁付電話機 (一般)	〃	1,300				

注) 天井高3,000mm以上の場合、上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

壁付呼出押ボタン (多機能H/I) の取付高さ (400) は、床に転倒した時を考慮した高さを示す。

表-2 配線中の図記号は、特記なき場合は下表による。

(1) 電線サイズなどが記号に傍記されている場合は、それによる。

(2) 床隠ぺい配線の場合も適用する。

(3) 図面中に配線記号表等があるものは、それを優先する。

記 号	名 称	記 号	名 称
――	コンクリート貫通部分	―― (室 名) ――	スラブ天井を示す
(())	既 設 配 管	――	配線保護部分
――	(PF16)	――	EM-EFF1.6-2C 天井ころがし
――	EM-IE1.6x2 (PF16)	――	EM-EFF1.6-3C 〃
――	EM-IE1.6x3 (PF16)	――	EM-EFF1.6-2C x2 〃
――	EM-IE1.6x4 (PF16)		
	配線サイズが附記されたものは、そのサイズの配線に読み替える。		
――	EM-AE1.2-2C (PF16)	――	EM-AE1.2-2C 天井ころがし
――	EM-AE1.2-3C (PF16)	――	EM-AE1.2-3C 〃
――	EM-AE1.2-4C (PF16)	――	EM-AE1.2-4C 〃
――	EM-AE1.2-2C+AE1.2-3C (PF16)	――	EM-AE1.2-2C+AE1.2-3C 〃

別表-1

L E D 照明器具 (一般屋内用に限る。)	照明制御装置
可変速運転用インバータ装置	分電盤
制御盤	キュービクル式配電盤
高圧スイッチギア (CW)	高圧スイッチギア (PW)
高圧交流遮断器	高圧変圧器 (特定機器)
高圧進相コンデンサ	高圧限流ヒューズ
高圧負荷開閉器	交流無停電電源装置
太陽光発電装置 (ハコ型) (出力及び系統連系保護装置)	監視カメラ装置
中央監視制御 (監視制御装置)	

III 工事概要 (改修工事の場合のみ記載する)

注 記

備 考

文化交流センター新築工事

特記仕様書 (1)

図面番号: E-001

S = N. S

設 計 者: 1 級建築士登録第372383号 陶 山 大 輝

株式会社 三 座 建 築 事 務 所

管理建築士: 1 級建築士登録第30343号 百 武 篤

工事区分表

工 事 内 容			建 築	電 気 設 備	機 械 設 備	ILV-7-設 備
機 器 の 基 礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	屋 内 屋 外 屋 上	○ ○ ○		
		自家発電機の基礎		○		
		テレビアンテナ基礎		○		
		避雷針の基礎		○		
		ソーラーパネル基礎		○		
	機 械 関 係	特記した基礎		○	○	
		受水タンク及び高置タンクの基礎		○		
		冷却塔の基礎		○		
		特記した基礎		○	○	
		補強		○		
開 口 部	RC梁の貫通部	スリーブ		○	○	○
		型枠		○		
		補強		○		
	鉄骨梁の貫通部	スリーブ		○		
		補強		○		
	RC造床及び壁の貫通部	スリーブ		○	○	○
		型枠		○		
	デッキプレートの貫通部	補強		○		
		切込		○	○	○
	軽量鉄骨下地天井及び壁の開口部	補強		○		
		補強を要する切込		○		
		補強を要しない切込		○	○	○
		埋込形盤類及び、箱類の型枠		○		
		上記開口部の差出し（※１）		○	○	○
		穴埋め補修（型枠の穴埋めを含む）（※１）		○	○	○
		フリーアクセスフロアの複合アウトレット用開口（工場加工）		○		
		フリーアクセスフロアの予備開口（工場加工）及びプレート		○		
		※１）差出し、穴埋め補修は、スリーブ工事を行う施工者が実施する。				
	点 検 口	床、壁、天井		○		
	外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		○		
	通湯室のフード			○		
	換気扇	本体			○	
		取付枠			○	
	流 し 台	本体（排水トラップ共）		○		
		水栓			○	
	防 油 堤	オイルサーピスタンの防油堤、タンク基礎		○		
	地下タンク貯蔵所	主燃料槽（自家発電）		○		
		オイルタンク（工事調用）			○	
		タンク室（躯体、土工事）		○		
				○		
	床下水槽のマンホールふた			○		
				○		
	屋 外 排 水 管	雨 水				
		汚水、雑排水			○	
	雨 水 立 管	（たてどい）		○		
	雨 水 集 水 管	（ナイフゲート弁以降）		○		
	便所内に設置する手すり				○	
		便所内に設置する手すり（衛生器具ユニットに含まれる場合）			○	
	はめ込形洗面器用カウンター				○	
	鏡		○		○	
	ガスボンベ転倒防止用の鎖				○	
電 気 配 管 配 線		機器などへの１次側配管配線及び接続		○		
		機器などから操作スイッチ等への２次側配管及び埋込ボックス		○		
		機器などから操作スイッチ等への２次側配線及び接続		○	○	○
		自動制御盤と動力盤との送り配管配線			○	
		個別パッケージの室内機、室外機の送り配線（接地共）			○	
		煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		○		
		小便器用節水装置の制御盤以降の２次側の配管配線			○	
		フリーアクセスフロアの複合アウトレット取付及び配線		○		
ガス漏れ検知器		防火扉レリーズ		○		
		電 極 棒			○	
電 気 錠		電気錠及び通電金具（配線を含む）		○		
		T E Nキー及び制御盤		○		
シャワーユニット、浴室ユニット、洗濯機パン					○	
				○		
システム天井		ボード・Iバー			○	
		照明ライン設備プレート		○		
灌水装置（植栽用）		空調ライン設備プレート			○	
		灌水コントローラー		○		
		灌水ボックス		○		
		灌水コントローラーまでの１次側配管配線及び接続		○		
		灌水ボックスまでの１次側給水配管及び接続			○	

工 事 内 容	建 築	電 気 設 備	機 械 設 備	ILV-7-設 備
機械室・昇降路の躯体	○			
機械室の床開口	○			
機械室の床配管ビット・差	○			
機械室の上げ床コンクリート打設・仕上げ	○			
巻上機風車のチェッカープレート敷				○
昇降路内ビット防水・集水溝	○			
点検用タラップ				○
各階出入口穴あけ・同補強	○			
スリーブ				○
三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強				○
出入口扉・三方枠及び幕板				○
昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の 固定用鋼材	○			
昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○
昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○			
機械室大梁又は昇降路内のフック取付（フック含む）	○			
ホール押釦・インジケータ・網索などの壁開口	○			
機械室・昇降路内換気設備			○	
点検用コンセント・煙感知器		○		
エレベーター制御盤までの動力・照明用電源、アース、防災信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事		○		
エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又はエレベーター警報盤までの配管・配線工事				○
エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管・配線工事（監視カメラ含む）				○
エレベーター制御盤から監視カメラ用の監視装置までの配管・配線工事		○		
エレベーター制御盤から外部インターホンまでの配管・配線工事				○
エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又はエレベーター警報盤までの制御及びインターホンの配管・配線工事				○
エレベーター制御盤又はエレベーター監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事		○		
エレベーター制御盤又はエレベーター監視盤までの緊急地震速報用の配管工事		○		
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事			○	
昇降路内の仮設物				○

注
記
・
備
考



文化交流センター新築工事

特記仕様書（2）

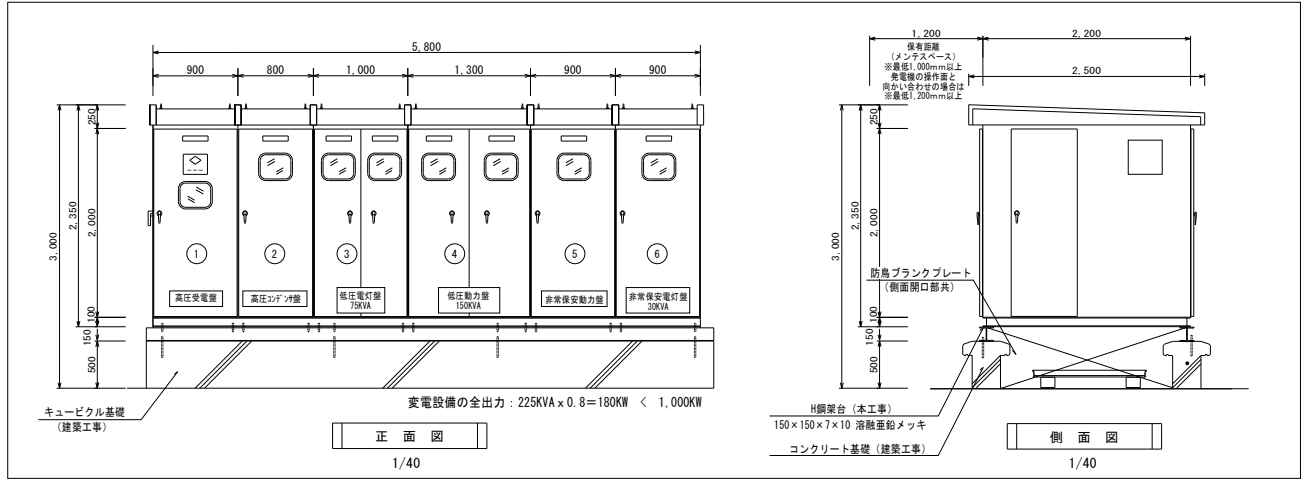
図面番号： E-002

S= N. S

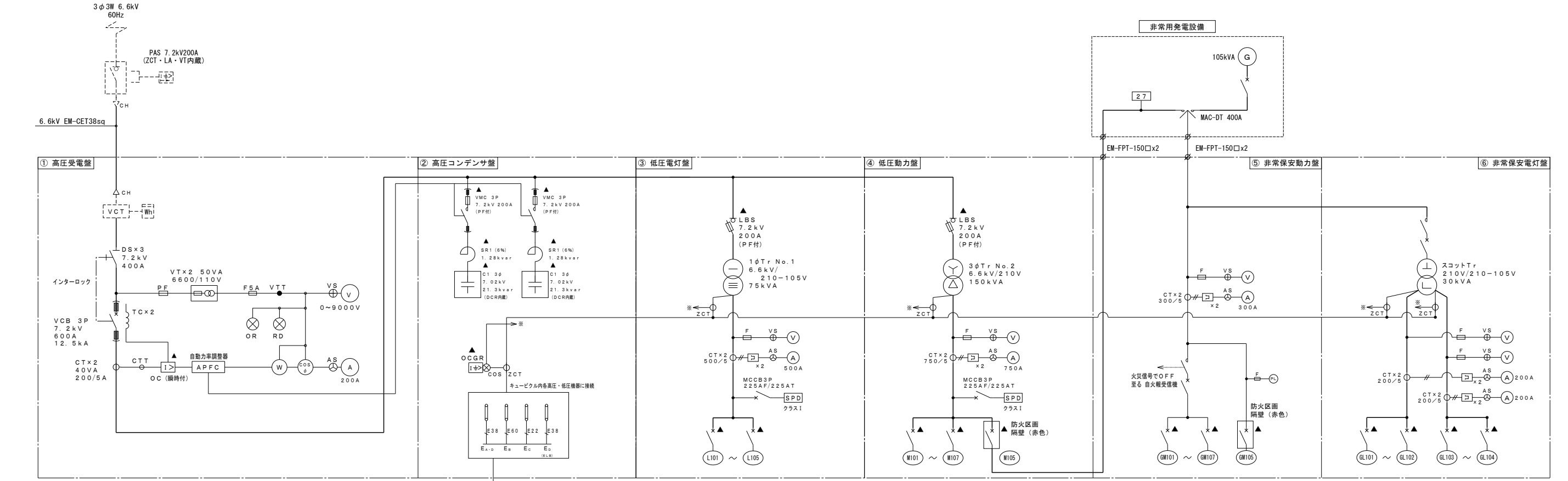
設 計 者： 1級建築士登録
第372383号 陶 山 大 輝

株式会社
三 座 建 築 事 務 所

管理建築士： 1級建築士登録
第303543号 百 武 篤



記号	機器名称	機器仕様	記号	機器名称	機器仕様	記号	機器名称	機器仕様
	キャビネット内断り器	○ PDS (ピラジスコン) ○ MDS (モールドジスコン)	Pf	力率計	型 式: ○ 角型 ● 広角型		設置場所	屋上
PAS	柱上用気中負荷開閉器	・ SOG (方向性) ● 有 ○ 無 ・ LA内蔵 ● 有 ○ 無 VT内蔵 ● 有 ○ 無	PF	高圧電圧ヒューズ	・ 消断表示付とし種別・規格は下記による。 ・ 特用用途を定めないものは G種 (JIS C4604) ・ 家庭用保護用は T種 (JIS C4604) ・ コンデンサ保護用は C種 (JIS C4604)		特殊条件	○ 塩害地区 ○ 重塩害地区 ○ 多雪地区 ○ その他 ()
DS	断り器	○ 手動操作 (3極単投) ○ 遠方手動操作 ○ 電動操作型 (○ 電動 ○ 電磁) (○ AC ○ DC)	PC	高圧カットアウト	○ 手動操作 (3極単投) ○ 遠方手動操作 ○ ヒューズトリップ式 ○ 電動操作型 (○ 電動 ○ 電磁) (○ AC ○ DC)		配電盤	造 材: ● メーカー標準 ○ 指定色 仕 上 げ: ● メーカー標準 ○ メラミン焼付塗装または粉体塗装 ベ ー ス: ● メーカー標準 ○ 100mm x 50mm ○ 150mm x 75mm 経 理: ● メーカー標準 ○ アクリル樹脂製 ○ 断光型 ○ 非断光型
ZCT	電圧変換器 (受電用)	○ 真空型 ○ 一次導体付	LBS	高圧気中負荷開閉器	● 手動操作 (3極単投) ○ 遠方手動操作 ○ ヒューズトリップ式 ○ 電動操作型 (○ 電動 ○ 電磁) (○ AC ○ DC)		付属品	● フラック棒 (1.5m 1本) ○ 高圧絶縁マット (1.0m x 1.0t) ○ 測定器 (絶縁抵抗計、高圧検電器、低圧検電器、クランプ型電流計) ○ 高圧ゴム手袋、長靴
VT	計器用変圧器	● コイルモード (エポキシモード) ○ 金モード (ゴムモード) 定格負荷: ● 50VA ○ 100VA ○ 200VA 一次側 PF: 7.2kV 40kA	Tr	変圧器	● 油入自冷式 ○ モード式 (F種) 防湿ゴム: ● 有 ○ 無		予備品	● 電力用ヒューズ: 容量・形状幅にそれぞれ1組 ● 制御用ヒューズ: 1個以上 (実装数の20%以上)
CT	変流器 (受電用)	● コイルモード (エポキシモード) ○ 金モード (ゴムモード) 定格負荷: ● 40VA ○ 10VA 過電流強度: ● 40倍 ○ 75倍 ○ () 倍 一次側 PF: 7.2kV 40kA	SC	逆起コンデンサ	● 固定抵抗内蔵型 ○ 放電コイル付		消火器	○ 大型消火器 (ABC粉末消火器 50型) ○ 小型消火器 (ABC粉末消火器 10型) SUSボックス・表示付 ○ 移動式粉末消火設備
CB	高圧遮断器 (受電用)	● VCB (真空遮断器) ○ GCB (ガス遮断器) ○ OCB (油遮断器) ● 固定型 ● 引出型 ● 手動操作型 ○ 電動操作型 (○ 電動 ○ 電磁) (○ AC ○ DC) 遮断時間: ● 3サイクル ○ () サイクル	SR	直列リアクトル	● 油入自冷式 ○ モード式 (F種) リアクタンス: ● 6% ○ 13%		型 式	● 屋外型 ○ 屋外型 ○ 屋内型
GR	地絡線電圧	方 向 性: ○ 有 ● 無 断 路 型: 瞬時要素付 ● 停止型、瞬時要素付	ZPD	電圧検出コンデンサ	○ 固定抵抗型、屋外型 ● 固定型 ○ 引出型 ○ 瞬時機能		認定・条例	● メーカー標準
OCR	過電流検電器	● 固定型 ○ 引出型 ● 手動操作型 ○ 電動操作型 (○ 電動 ○ 電磁) (○ AC ○ DC) 遮断時間: ● 3サイクル ○ () サイクル	MC	電圧切替開閉器	取得方法: ○ 埋込フラッシュプレート型 ● 露出型 接続方式: ○ 表面スタッド ● 裏面 プラグイン		ケーシング	● メーカー標準
V	電圧計	型 式: ○ 角型 ● 広角型 断 線: ● 1.5線 ○ 2.5線 型 式: ○ 角型 ● 広角型 断 線: ● 1.5線 ○ 2.5線 非 指 針: ● 有 ○ 無 子マンド: ○ 有 ● 無	ELCB	漏電遮断器	● 検定方式 ○ 検定なし ● エネルギーモニタ対応 ○ 検定要素付		内部構造	● メーカー標準 ○ 無
A	電流計	型 式: ○ 角型 ● 広角型 断 線: ● 1.5線 ○ 2.5線 非 指 針: ● 有 ○ 無 子マンド: ○ 有 ● 無	Wh	電力計 (低圧用)	・ 警報電源は、NiCd蓄電池 (10分容量)、DC24V整流装置付とする。 ・ 配線用遮断器は全て警報線付とする。 ・ 配線用遮断器は警報の前面に取付とする。 ・ 原形は輸入リガラスを使用する。 ・ ▲警報出力は、無電圧・短点とし、一括信号を警報出力とする。		遮手	● メーカー標準
W	電力計	型 式: ○ 角型 ● 広角型 断 線: ● 1.5線 ○ 2.5線 非 指 針: ● 有 ○ 無 子マンド: ○ 有 ● 無					コンセント	● 単相100V接地極付 ○ 単相200V接地極付 ○ 三相200V接地極付 換気 ● 自然 ● サーモによる機械換気



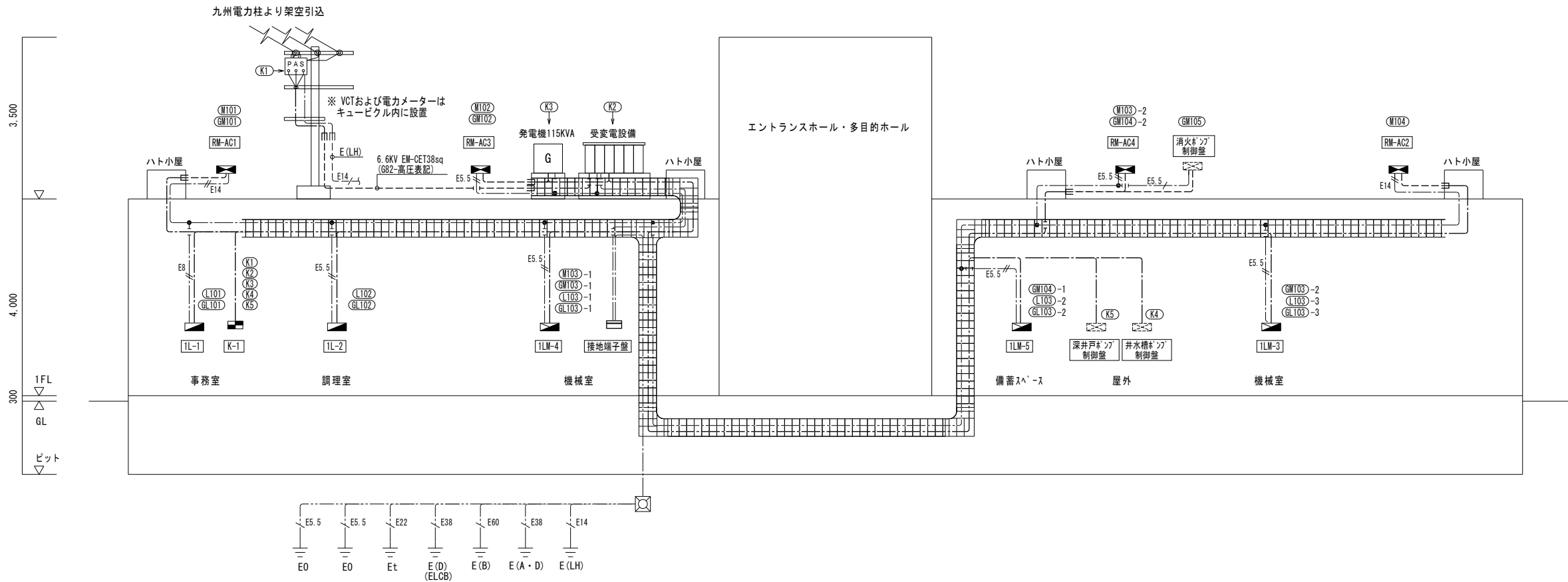
警報リスト	幹線No.	遮断機容量 MCCB 3P AF/AT	負荷容量 (kW)	負荷名称	幹線サイズ
1. LBS異常	L101	225/175	25.71	1L-1	EM-CET150sq
2. リアクトル異常	L102	50/50	7.54	1L-2	EM-CET22sq
3. コンデンサ異常	L103	100/100	19.07	1LM-3, 1LM-4, 1LM-5	EM-CET60sq
4. 過電流 (高圧)	L104	100/100	-	予備	
5. 過電流 (低圧)	L105	100/100	-	予備	
6. 保安回路不足電圧					
7. 低圧地絡 (電灯)					
8. 低圧地絡 (動力)					

警報リスト	幹線No.	遮断機容量 MCCB 3P AF/AT	負荷容量 (kW)	負荷名称	幹線サイズ
1. LBS異常	M101	225/150	17.44	RM-AC1	EM-CET100sq
2. リアクトル異常	M102	50/50	5.64	RM-AC3	EM-CET14sq
3. コンデンサ異常	M103	100/100	7.74	1LM-4, RM-AC4	EM-CET38sq
4. 過電流 (高圧)	M104	225/225	21.44	RM-AC2	EM-CET150sq
5. 過電流 (低圧)	M105	400/400	78.05	保安・非常電源	EM-FPT150sq x 2
6. 保安回路不足電圧	M106	100/100	-	予備	
7. 低圧地絡 (電灯)	M107	100/100	-	予備	
8. 低圧地絡 (動力)					

警報リスト	幹線No.	遮断機容量 MCCB 3P AF/AT	負荷容量 (kW)	負荷名称	幹線サイズ
1. LBS異常	GM101	50/50	3.74	RM-AC1	EM-CET22sq
2. リアクトル異常	GM102	100/100	11.50	RM-AC3	EM-CET60sq
3. コンデンサ異常	GM103	50/50	4.15	1LM-4, 1LM-3	EM-CET22sq
4. 過電流 (高圧)	GM104	225/125	17.00	1LM-5, RM-AC4	EM-CET150sq
5. 過電流 (低圧)	GM105	100/75	5.50	消火ポンプ	EM-FPT14sq
6. 保安回路不足電圧	GM106	100/100	-	予備	
7. 低圧地絡 (電灯)	GM107	100/100	-	予備	
8. 低圧地絡 (動力)					

警報リスト	幹線No.	遮断機容量 MCCB 3P AF/AT	負荷容量 (kW)	負荷名称	幹線サイズ
1. LBS異常	GL101	100/100	13.56	1L-1	EM-CET38sq
2. リアクトル異常	GL102	50/50	7.86	1L-2	EM-CET22sq
3. コンデンサ異常					
4. 過電流 (高圧)					
5. 過電流 (低圧)					
6. 保安回路不足電圧					
7. 低圧地絡 (電灯)					
8. 低圧地絡 (動力)					

幹線系統図



凡 例	記 号	名 称	備 考
		電灯分電盤、電灯動力盤	「電灯分電盤リスト」参照
		動力制御盤	「動力盤リスト」参照
		別途制御盤	
		警報盤	「警報盤リスト」参照
		接地端子盤	
		接地工事 (A種)	高圧避雷器用
		接地工事 (A種・D種兼用)	高圧機器、低圧機器用
		接地工事 (B種)	変圧器二次側用
		接地工事 (D種ELCB)	低圧電路 (ELCB) 用
		接地工事 (通信)	PBX、保安器用
		接地工事 (測定)	測定用補助接地極
		ケーブルラック	<材質> 屋内：ZM 屋外：ZA
		プルボックス	寸法・仕様は注記参照
		位置ボックス	
		二重天井内ころがし配線	
		隠蔽配管配線	
		床下隠蔽配管配線	
		地中埋設配管配線	
		異種管接続材	各適合サイズ
		空配管	
		幹線No.	

注 記			
図中、特記なき配管配線は下記による。			
記 号	線 種	二重天井内	保 護 管
	EM-IE 5.5sq	ころがし配線	(E19) (G16) (FEP30)
	EM-IE 8.0sq	ころがし配線	(E19) (G16) (FEP30)
	EM-IE 5.5sq x 2	ころがし配線	(E19) (G16) (FEP30)
	EM-IE 8.0sq x 2	ころがし配線	(E25) (G22) (FEP30)
	EM-IE 14sq x 2	ころがし配線	(E25) (G22) (FEP30)
	EM-IE 22sq x 2	ころがし配線	(E31) (G28) (FEP30)
	EM-IE 38sq x 2	ころがし配線	(E39) (G36) (FEP40)
1) 特記なき幹線サイズは「幹線リスト」および「盤リスト」を参照とする。			
2) 防火区画貫通位置及び工法は、「防火区画貫通標準図」「各平面図」による。			
3) プルボックスサイズは下記とし、特記なきプルボックスサイズは200×200×100とする。			
abc: (a×100)D×(b×100)H×(c×100)H mm 無印: 屋内鋼板製 WP: SUS防水型			
4) 空配管は、呼び線1.2mmを挿入しておくこと。			
5) 接地線は最寄の電力ケーブルに沿わせて敷設、もしくは最寄の電力配管に入線して敷設すること。			
6) 金属製プルボックスには適合する接地線を施すこと。			
7) EA・DおよびED (ELB)の接地母線はそれぞれ38sqとする。			

【幹線リスト】

AC 3φ3W 200V		AC 1φ3W 100/200V		GAC 3φ3W 200V		GAC 1φ3W 100/200V	
M101	低圧動力盤 → EM-CET100sq (CR), (G70) → RM-AC1	L101	低圧電灯盤 → EM-CET150sq (CR) → 1L-1	GM101	非常保安動力盤 → EM-CET22sq (CR), (G42) → RM-AC1	GL101	非常保安電灯盤 → EM-CET60sq (CR) → 1L-1
M102	低圧動力盤 → EM-CET14sq (CR), (G42) → RM-AC3	L102	低圧電灯盤 → EM-CET38sq (CR) → 1L-2	GM102	非常保安動力盤 → EM-CET60sq (CR), (G70) → RM-AC3	GL102	非常保安電灯盤 → EM-CET38sq (CR) → 1L-2
M103	低圧動力盤 → EM-CET38sq (CR) → M103-1 → 1LM-4 → EM-CET22sq (CR), (G42) → M103-2 → RM-AC4	L103	低圧電灯盤 → EM-CET60sq (CR) → L103-1 → 1LM-4 → EM-CET60sq (CR) → L103-2 → 1LM-5 → EM-CET38sq (CR) → L103-3 → 1LM-3	GM103	非常保安動力盤 → EM-CET14sq (CR) → GM103-1 → 1LM-4 → EM-CET14sq (CR) → GM103-2 → 1LM-3	GL103	非常保安電灯盤 → EM-CET38sq (CR) → GL103-1 → 1LM-4 → EM-CET38sq (CR) → GL103-2 → 1LM-5 → EM-CET22sq (CR) → GL103-3 → 1LM-3
M104	低圧動力盤 → EM-CET150sq (CR), (G82) → RM-AC2			GM104	非常保安動力盤 → EM-CET100sq (CR) → GM104-1 → 1LM-5 → EM-CET60sq (CR), (G70) → GM104-2 → RM-AC4		
				GM105	非常保安動力盤 → EM-FPT14sq (CR), (G42) → 消火ポンプ制御盤 (FP-1)		

【警報盤リスト】

警報盤 (K-1) 10窓			警報	
No.	警報内容	幹線記号		
1	PAS高圧地絡	(K1)	(K1)	警報盤 (K-1) → EM-CEE2.0sq-2C (CR), (G16) → PAS
2	キュービクル異常一括警報	(K2)	(K2)	警報盤 (K-1) → EM-CEE2.0sq-4C (CR) → キュービクル
3	キュービクルGLR一括警報	(K3)	(K3)	警報盤 (K-1) → EM-CEE2.0sq-2C (CR) → 発電機
4	発電機故障	(K4)	(K4)	警報盤 (K-1) → EM-CEE2.0sq-2C (CR), (G16), (FEP30) → 井水槽ポンプ制御盤 (PWU-1)
5	井水槽ポンプ一括異常	(K5)	(K5)	警報盤 (K-1) → EM-CEE2.0sq-8C (CR), (G28) → 深井戸ポンプ制御盤 (PWU-2)
6	深井戸ポンプ一括異常			
7	井水槽 満水			
8	井水槽 減水			
9	井戸 濁水			
10	予備			

注
記
・
備
考



文化交流センター新築工事

幹線・動力設備 系統図・幹線リスト

図面番号: E-005

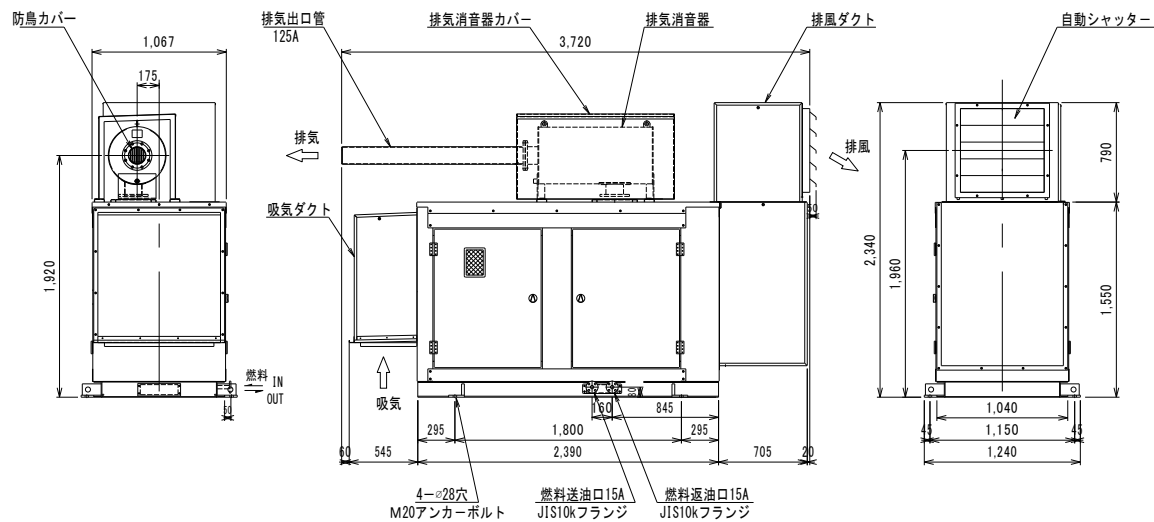
S=N.S

設計者: 1級建築士登録 陶山 大輝

株式会社 三座建築事務所

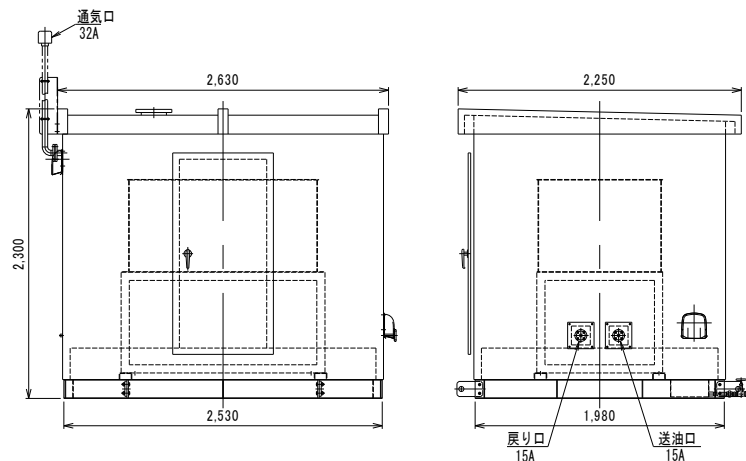
管理建築士: 1級建築士登録 百武 篤

外形
S=1/25



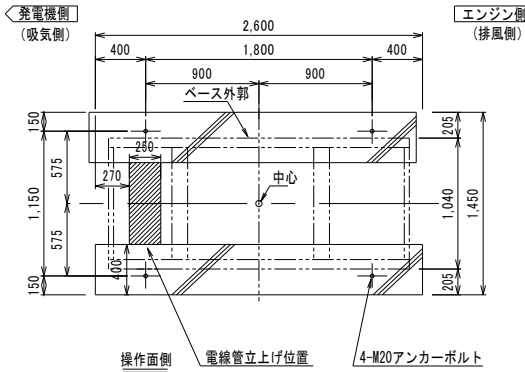
980L油庫

質量：約2230 kg（燃料含む）
 本体：5Y7/1全艶
 ベース：溶融亜鉛メッキ処理
 S=1/25



基礎 図 (参考)

※建築工事



仕様書

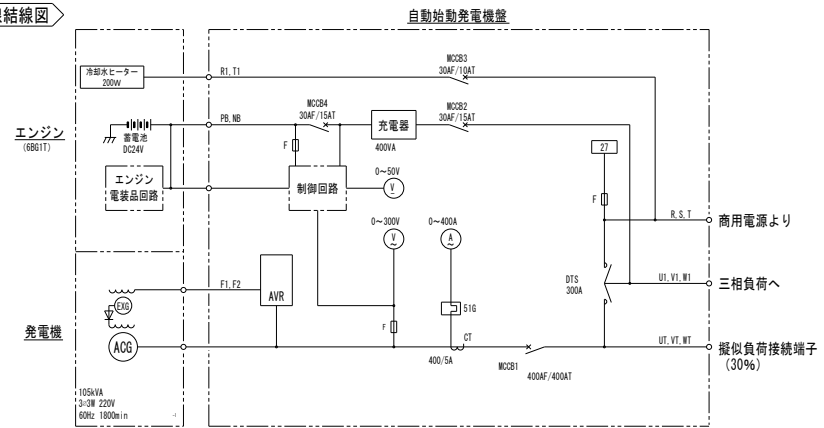
仕 様 書				
用 途	消防法適合品・非常用予備電源・即時長時間形			
設 置 場 所	屋 外			
運 転 方 式	全自動・手動方式及び試験スイッチ採用			
使 用 条 件	周囲温度 : -5～40℃ 湿度 : 最高相対湿度 85% 高 度 : 1000m迄(原動機の性能は100mを標準とする)			
騒 音 値	本体より1mにおいて 85dB (Aスケール) 平均値			
発 電 機 盤 構 成	自動始動停止装置・保護装置、励磁装置 主回路閉装置、計測装置			
計測装置	発電機側	交流電圧計・交流電流計・直流電圧計		
	エンジン側	潤滑油圧力計・潤滑油温度計 冷却水温度計		
保護・警報装置	項 目	動 作 状 態	警 報	エンジン停止
	油 圧 低 下	98±20kPa以下	○	○
	水 温 上 昇	105±2℃ 以上	○	○
	始 動 流 滞	始動失敗	○	○
	過 回 転	115 ± 5 % 以上	○	○
	過 電 流	115 ± 5 % 以上	○	—
	燃料油最低油量	燃料タンク下面より 10 ± 0.5 c m以下	○	○
	緊 急 停 止	緊急停止押印を押した時	○	○
漏 油	センサーが検知した時	○	—	

エンジン発電機仕様書

エ ン ジ ン		発 電 機	
形 式	4サイクル水冷頭上弁式	容 量	105kVA/84kW
燃焼室形式	直接噴射式	電 圧	220V
給 気 方 式	ラジエーター・ボ過給式	電 流	275.5A
冷 却 方 式	ラジエーター 方式	定 格	1時間連続 (過負荷110%30分)
シリンダー数	6	相 数	3相3線
定 格 出 力	98.9kW	極 数	4P
回 転 速 度	1800min ⁻¹	周 波 数	60Hz
始 動 方 式	無モーター	回 転 速 度	1800min ⁻¹
充 電 方 式	自動充電方式	力 率	0.8 (遅れ)
蓄 電 池	消防法認定品R40-H24V	耐 熱 率	180 (H)
使 用 燃 料	軽油 980L/油庫	始 動	10秒
装 置 質 量	約2150k g	塗 装 色	57/1全艶

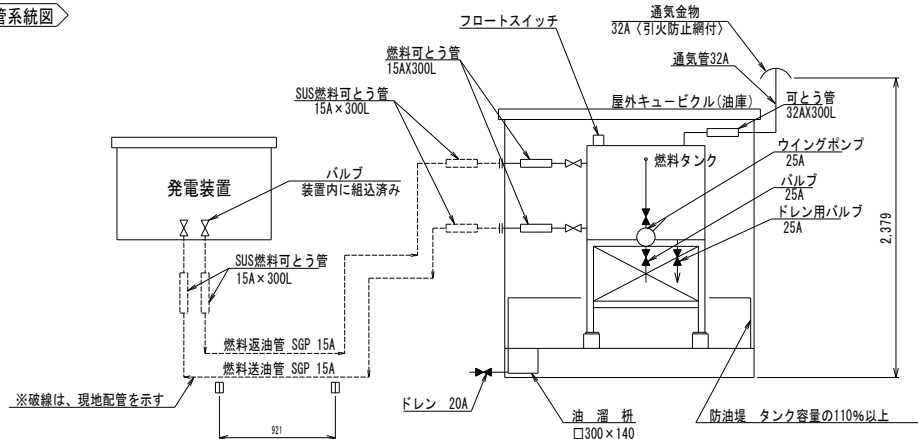
*特記仕様:保守運転タイマー付
:キュービクル～溶融亜鉛メッキ鋼板使用
:ベース～溶融亜鉛メッキ処理

單線結線圖



記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称
ACG	三相交流発電機	MCB81	主回路用遮断器	F	ヒューズ
EXG	励磁用発電機	MCB83	常時予熱用遮断器	27	停電検出器
AVR	自動電圧調整器	MCB82	充電器入力用遮断器	DTS	電源切替器
V	交流電圧計	MCB84	充電器出力用遮断器		
V	直流電圧計	51G	サマルリレー		
A	交流電流計	CT	計器用変流器		

配管系統図



自家発電設備出力計算書

特性等	
(1)	対象負荷機器 様式-2 のとおり
(2)	発電機 特性 $KG3 = 1.500$ $KG4 = 0.150$ $x'd'g = 0.250$ $\Delta E = 0.250$ $\eta_g = 0.922$
(3)	原動機 特性 $\varepsilon = 1.000$ $\gamma = 1.100$ $a = 0.250$
(4)	負荷機器 $**D = 1.000$ $**d = 1.000$

**：1,000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

自家発電設備					
(1)	種 類	屋外用キュービクル式即時長時間形			
(2)	形式番号	SYD0-45			
(3)	発電機出力				
	定格出力	105.0	kVA	極 数	4 極
	定格電圧	220	V	定格周波数	60 Hz
	定格力率	0.800		定格回転速度	1,800 min ⁻¹
(4)	原動機出力				
	原動機の種別	ディーゼル機関(長時間形)			
	定格出力	98.9	kW	{ 134.5	PS}
	使用燃料	軽油		定格回転速度	1,800 min ⁻¹
(5)	整合比	1.085			

[illegible]
$$\langle A \rangle := k_S / Z' m \times m_i$$
$$\langle B \rangle := [ks/Z' m-d/(\eta b \times \cos \theta b)] \times m i$$
$$\langle G \rangle := [ks/Z^* m \times \cos \theta s - (\varepsilon - a) \times d / \eta b] \times m$$
$$\langle D \rangle := (k_s / Z^* m \times \cos \theta s - d / \eta b) \times m i$$

(ただしエレベーター負荷のときは、各式に U_v/n を掛けた値とする。)

自家発電設備出力計算シート（発電機）				
RG1	$= \frac{1}{\eta L} \times D \times Sf \times \frac{1}{\cos \theta g} = \frac{1}{0.860} \times 1.000 \times 1.000 \times \frac{1}{0.800} = 1.454$ $\Delta P = A + B - 2C = 12.22 + 12.22 - 2 \times 12.22 = 0.00$ $u = \frac{(A - C)}{\Delta P} = \frac{(12.22 - 12.22)}{0.00} = 1.000$ $Sf = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $= \sqrt{1 + \frac{0.00}{66.33} + \left(\frac{0.00}{66.33}\right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)} = 1.000$			定常負出力係数 RG1 1.454
RG2	エレベーター 無 (0)	$= \frac{(1 - \Delta E)}{\Delta E} \times x d' g \times \frac{ks}{Z' m} \times \frac{M2}{K}$ $= \frac{(1 - 0.250)}{0.250} \times 0.250 \times \frac{1.000}{1.000} \times \frac{30.00}{66.33} = 0.340$		許容電圧降下出力係数 RG2 0.340
RG3	$= \frac{fv1}{KG3} \times \left\{ \frac{d}{(\eta b \times \cos \theta b)} \times \left(1 - \frac{M3}{K}\right) + \frac{ks}{Z' m} \times \frac{M3}{K} \right\}$ $= \frac{1.000}{1.500} \times \left\{ \frac{1.000}{(0.861 \times 0.941)} \times \left(1 - \frac{1.50}{66.33}\right) + \frac{1.000}{0.120} \times \frac{1.50}{66.33} \right\}$ $= 0.930$			短時間過電流耐力出力係数 RG3 0.930
RG4	$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{KG4} \times \sqrt{(H - RAF)^2 + \left(\sum \frac{Ai}{\eta i \times \cos \theta i} + \sum \frac{Bi}{\eta i \times \cos \theta i} - 2 \times \sum \frac{Ci}{\eta i \times \cos \theta i}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $\times H = hb \times \sqrt{\left\{\sum \left(\frac{RGi \times hki}{\eta i \times \cos \theta i}\right)\right\}^2 + \left\{\sum \left(\frac{R3i \times hki}{\eta i \times \cos \theta i}\right) \times hph\right\}^2}$ $= \frac{1}{66.33} \times \frac{1}{0.150} \times \sqrt{(11.22 - 0.00)^2 + (0.00)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)}$ $= 1.128$			許容逆相電流出力係数 RG4 1.128
RG	$= RG < 1 > = 1.454 \quad RG1, RG2, RG3, RG4 \text{ のうち最大値}$			RG 1.454
発電機計算出力 G'		$G' = RG \times K = 1.454 \times 66.33 = 96.43 \quad (kVA)$		発電機定格出力 G
		$G = 105.0 \quad (kVA)$		

備考：GはG'の値の95%以上の値とする。

様式-4		＜最終＞	
自家発電設備出力計算シート（原動機、整合）			
RE1	$= \left(\frac{1}{\eta L} \right) \times D \times \left(\frac{1}{\eta g} \right) = \left(\frac{1}{0.860} \right) \times 1.000 \times \left(\frac{1}{0.922} \right) = 1.262$		定常負荷出力係数 RE1 1.262
RE2	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{fv2}{\eta g'} \times \left\{ (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{M'2}{K} \right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos \theta s \times \frac{M'2}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1.000} \times \frac{1.000}{0.876} \times \left\{ (1.000 - 0.250) \times \frac{1.000}{0.861} \times \left(1 - \frac{1.50}{66.33} \right) + \frac{1.000}{0.120} \times 0.600 \times \frac{1.50}{66.33} \right\}$ $= 1.102$		許容回転速度変動出力係数 RE2 1.102
RE3	$= \frac{1}{r} \times \frac{fv3}{\eta g'} \times \left\{ \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{M'3}{K} \right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos \theta s \times \frac{M'3}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1.100} \times \frac{1.000}{0.876} \times \left\{ \frac{1.000}{0.861} \times \left(1 - \frac{1.50}{66.33} \right) + \frac{1.000}{0.120} \times 0.600 \times \frac{1.50}{66.33} \right\}$ $= 1.296$		許容最大出力係数 RE3 1.296
RE	$= RE < 3 > = 1.296 \quad RE1, RE2, RE3 \text{ のうち最大値}$		RE 1.296
原動機計算出力 E'	$E' = RE \times K = 1.296 \times 66.33 = 85.96 \quad (kW)$		
整合	$MR' = \frac{E'}{G \times \cos \theta g} \times \eta g = \frac{85.96}{105.0 \times 0.800} \times 0.922 = 0.943$		
原動機定格出力 E	$MR' = 0.943 \quad (MR' < 1.0 \text{ のため } MR=1.0 \text{ として } E^* \text{ を逆算})$ $MR = 1.085$		$E^* = 91.11 \quad (kW)$ $E = 98.9 \quad (kW)$
自家発電設備の出力	$G = 105.0 \quad (kVA)$	$力率 = 0.800$	$E = 98.9 \quad (kW)$ $134.5 \quad (PS)$

7-イ-セ'ル機関(長時間形)

備考：EはE' 又はE*の値以上の値とする。

自家発電設備出力計算書

みやこ町文化交流センター【非常時】

特性等	
(1)	対象負荷機器 様式-2 のとおり
(2)	発電機 特性 $KG3 = 1.500$ $KG4 = 0.150$ $x'd'g = 0.250$ $\Delta E = 0.250$ $\eta_g = 0.922$
(3)	原動機 特性 $\varepsilon = 1.000$ $\gamma = 1.100$ $a = 0.250$
(4)	負荷機器 $**D = 1.000$ $**d = 1.000$

自家発電設備				
(1)	種 類	屋外用 \pm 式即時長時間形		
(2)	形式番号	SYD0-45		
(3)	発電機出力			
	定格出力	105.0	kVA	極 数 4 極
	定格電圧	220	V	定格周波数 60 Hz
	定格力率	0.800		定格回転速度 1,800 min^{-1}
(4)	原動機出力			
	原動機の種別 \pm 式 \pm 機関(長時間形)			
	定格出力	98.9	kW { 134.5 PS }	
	使用燃料	軽油		定格回転速度 1,800 min^{-1}
(5)	整合比	1.085		

**：1,000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算 入出力 kW kVA	出力 mi (kW)	始制 動御 方形式	単相負荷 (kW)			需要率 di	分負荷 相当 出力 Mp (kW)	M2の 選定 〈A〉	M3の 選定 〈B〉	M' 2の 選定 〈C〉	M' 3の 選定 〈D〉
									R-S	S-T	T-R						
1	単	屋内消火栓設備（FP-1）	FL	MET	1	5.50	5.50	L	0.00	0.00	0.00	—	5.50	45.83	37.75	18.06	16.45

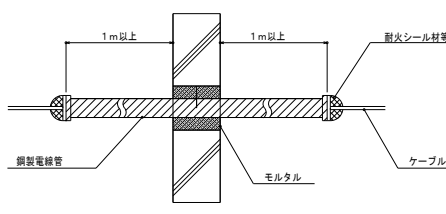
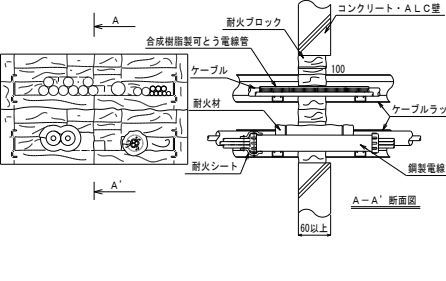
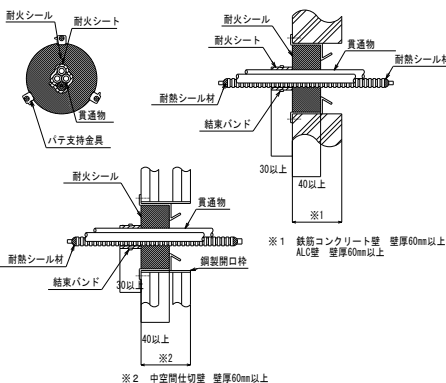
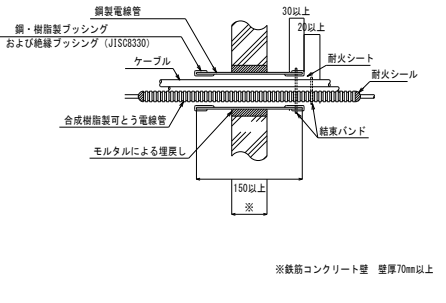
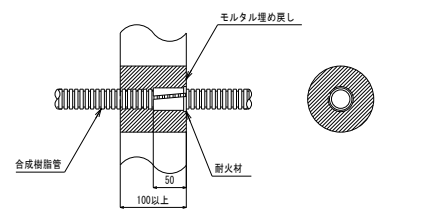
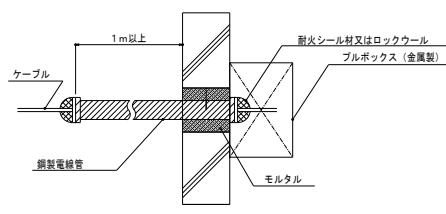
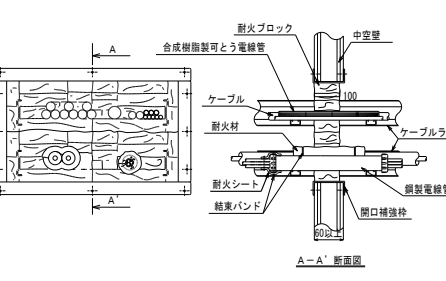
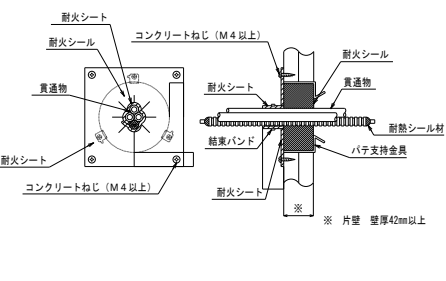
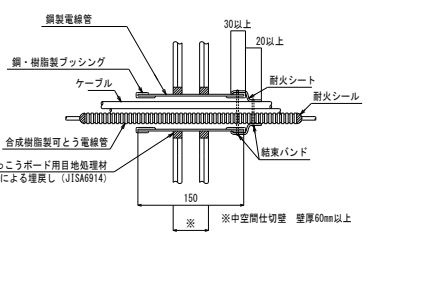
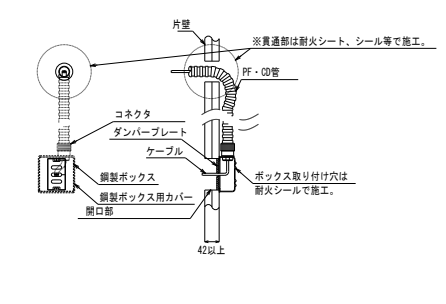
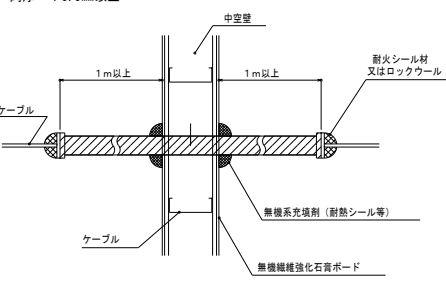
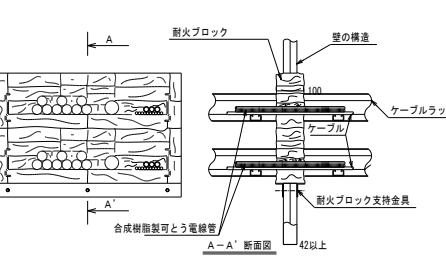
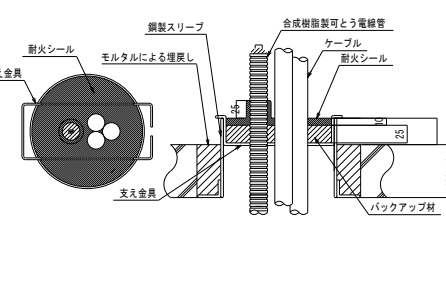
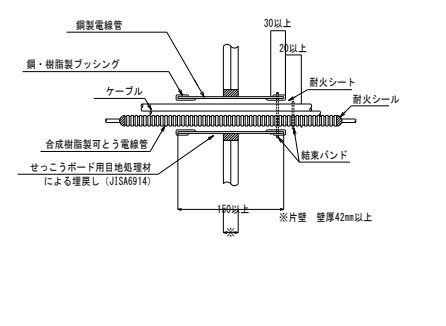
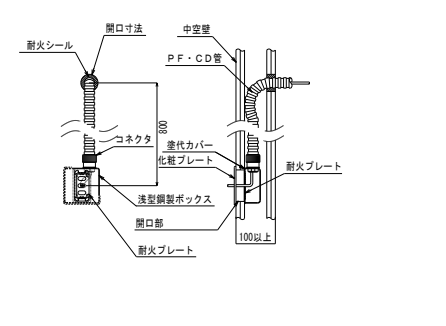

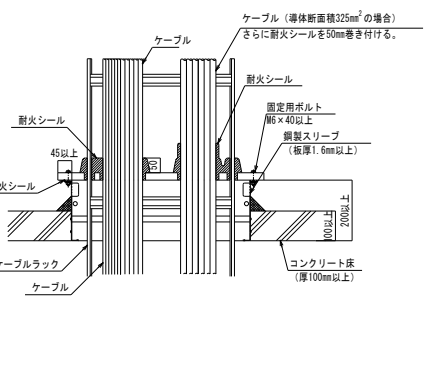
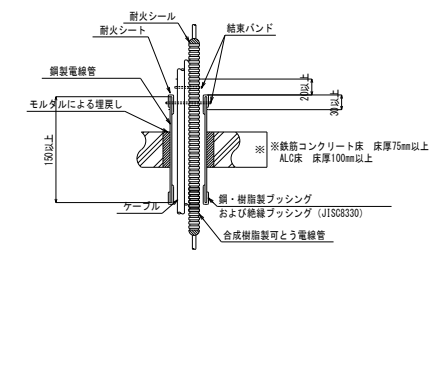
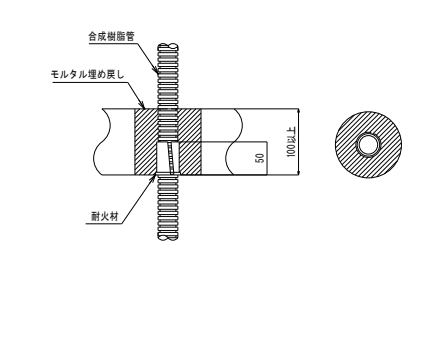
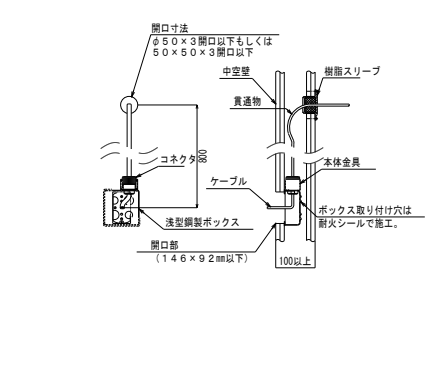
$$\langle B \rangle := [k_s / Z^* m - d / (\eta b \times \cos \theta b)] \times n i$$
$$\langle C \rangle := (ks/Z^* m \times \cos \theta s - (\varepsilon - a) \times d / \eta b) \times m$$
$$\langle \mathbf{D} \rangle := (k_s / Z^* m \times \cos \theta \, s - d / \eta b) \times m \mathbf{i}$$

自家発電設備出力計算シート（発電機）				
RG1	$= \frac{1}{\eta L} \times D \times Sf \times \frac{1}{\cos \theta g} = \frac{1}{0.880} \times 1.000 \times 1.000 \times \frac{1}{0.800} = 1.421$ $\Delta P = A + B - 2C = 0.00 + 0.00 - 2 \times 0.00 = 0.00$ $u = \frac{(A - C)}{\Delta P} = \frac{(0.00 - 0.00)}{0.00} = 1.000$ $Sf = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $= \sqrt{1 + \frac{0.00}{5.50} + \left(\frac{0.00}{5.50}\right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)} = 1.000$			定常負荷出力係数 RG1 1.421
RG2	エレベーター 無 (0)	$= \frac{(1 - \Delta E)}{\Delta E} \times x d' g \times \frac{ks}{Z'm} \times \frac{M2}{K}$ $= \frac{(1 - 0.250)}{0.250} \times 0.250 \times \frac{1.000}{0.120} \times \frac{5.50}{5.50} = 6.250$		許容電圧降下出力係数 RG2 6.250
RG3	$= \frac{fv1}{KG3} \times \left\{ \frac{d}{(\eta b \times \cos \theta b)} \times \left(1 - \frac{M3}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \frac{M3}{K} \right\}$ $= \frac{0.880}{1.500} \times \left\{ \frac{1.000}{(0.850 \times 0.800)} \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50}\right) + \frac{1.000}{0.120} \times \frac{5.50}{5.50} \right\}$ $= 4.889$			短時間過電流耐力出力係数 RG3 4.889
RG4	$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{KG4} \times \sqrt{(H - RAF)^2 + \left(\sum \frac{Ai}{\eta i \times \cos \theta i} + \sum \frac{Bi}{\eta i \times \cos \theta i} - 2 \times \sum \frac{Ci}{\eta i \times \cos \theta i}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $\times H = hb \times \sqrt{\left\{\sum \left(\frac{R6i \times hki}{\eta i \times \cos \theta i}\right)\right\}^2 + \left\{\sum \left(\frac{R3i \times hki}{\eta i \times \cos \theta i}\right) \times hph\right\}^2}$ $= \frac{1}{5.50} \times \frac{1}{0.150} \times \sqrt{(0.00 - 0.00)^2 + (0.00)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)}$ $= 0.000$			許容逆相電流出力係数 RG4 0.000
RG	$= RG<2> = 6.250 \quad RG1, RG2, RG3, RG4 \text{ のうち最大値}$			RG 6.250
発電機計算出力 G'		$G' = RG \times K = 6.250 \times 5.50 = 34.38 \quad (kVA)$	発電機定格出力 G	$G = 105.0 \quad (kVA)$

備考：GはG'の値の95%以上の値とする。

自家発電設備出力計算シート（原動機、整合）			
RE1	$= \left(\frac{1}{\eta_L} \right) \times D \times \left(\frac{1}{\eta_g} \right) = \left(\frac{1}{0.880} \right) \times 1.000 \times \left(\frac{1}{0.922} \right) = 1.233$		定常負荷出力係数 RE1 1.233
RE2	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{fv2}{\eta_{g'}} \times \{ (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\eta_b} \times \left(1 - \frac{M'2}{K} \right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos \theta_s \times \frac{M'2}{K} \}$ $= \frac{1}{1.000} \times \frac{0.760}{0.876} \times \{ (1.000 - 0.250) \times \frac{1.000}{0.850} \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50} \right) + \frac{1.000}{0.120} \times 0.500 \times \frac{5.50}{5.50} \}$ $= 3.616$		許容回転速度変動出力係数 RE2 3.616
RE3	$= \frac{1}{\gamma} \times \frac{fv3}{\eta_{g'}} \times \left\{ \frac{d}{\eta_b} \times \left(1 - \frac{M'3}{K} \right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos \theta_s \times \frac{M'3}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1.100} \times \frac{0.760}{0.876} \times \left\{ \frac{1.000}{0.850} \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50} \right) + \frac{1.000}{0.120} \times 0.500 \times \frac{5.50}{5.50} \right\}$ $= 3.287$		許容最大出力係数 RE3 3.287
RE	$= RE2 > = 3.616 \quad RE1, RE2, RE3 \text{ のうち最大値}$		RE 3.616
原動機計算出力 E'	$E' = RE \times K = 3.616 \times 5.50 = 19.89 \quad (kW)$		
整合	$MR' = \frac{E'}{G \times \cos \theta_g} \times \eta_g = \frac{19.89}{105.0 \times 0.800} \times 0.922 = 0.218$		
原動機定格出力 E	$MR' = 0.218 \quad (MR' < 1.0 \text{ のため } MR=1.0 \text{ として } E^* \text{ を逆算}) \quad E^* = 91.11 \quad (kW)$ $MR = 1.085$		E = 98.9 (kW)
自家発電設備の出力	G = 105.0 (kVA)	力率 = 0.800	E = 98.9 (kW) 134.5 (PS) 発電機機関(長時間形)

備考：EはE' 又はE*の値以上の値とする。

<p>鋼製電線管を用いた防火区画貫通措置部</p> <p>コンクリート壁・床</p> <p>・不燃材の配電管の場合 以下に準拠する。 建築基準法施行令第112条21項 建築基準法施行令第129条の2の4 ・不燃材以外の配電管の場合 大臣認定工法又は平12 建設省告示第1422による ・建設省告示第1422 配電管：難燃材料もしくは硬質塩化ビニル 肉厚：5.5mm以上</p> 	<p>ケーブルラック防火区画貫通措置</p> <p>コンクリート・ALC壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0756他</p> 	<p>ケーブル防火区画貫通措置</p> <p>コンクリート・ALC・中空壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0694他</p> 	<p>鋼製電線管防火区画貫通措置</p> <p>コンクリート・ALC壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0685他</p> 	<p>合成樹脂管防火区画貫通措置</p> <p>壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0305、0544、0675他</p> 	
<p>鋼製電線管を用いた防火区画貫通措置部</p> <p>コンクリート壁・床 片側プロボックス取付</p> <p>・不燃材の配電管の場合 以下に準拠する。 建築基準法施行令第112条21項 建築基準法施行令第129条の2の4 ・不燃材以外の配電管の場合 大臣認定工法又は平12 建設省告示第1422による ・建設省告示第1422 配電管：難燃材料もしくは硬質塩化ビニル 肉厚：5.5mm以上</p> 	<p>ケーブルラック防火区画貫通措置</p> <p>中空壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0756他</p> 	<p>ケーブル防火区画貫通措置</p> <p>片壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0676他</p> 	<p>鋼製電線管防火区画貫通措置</p> <p>中空壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0683他</p> 	<p>スイッチ・コンセントボックス用片壁防火区画貫通措置</p> <p>片壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0743他</p> 	
<p>鋼製電線管を用いた防火区画貫通措置部</p> <p>中空壁</p> <p>・不燃材の配電管の場合 以下に準拠する。 建築基準法施行令第112条21項 建築基準法施行令第129条の2の4 ・不燃材以外の配電管の場合 大臣認定工法又は平12 建設省告示第1422による ・建設省告示第1422 配電管：難燃材料もしくは硬質塩化ビニル 肉厚：5.5mm以上</p> 	<p>ケーブルラック防火区画貫通措置</p> <p>片壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0231他</p> <p>※両面強化せっこうボード重張木製下地間仕切壁 厚さ：80mm以上（準耐火構造） 及び建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造 （60分）において、国土交通大臣が認定した壁 ただし、中空壁の場合は、鋼製又は壁を構成する壁材と 同等の材料による開口補強材を設けること</p> 	<p>ケーブル防火区画貫通措置</p> <p>床 国土交通大臣認定番号：PS060FL-0703他</p> 	<p>鋼製電線管防火区画貫通措置</p> <p>片壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0684他</p> 	<p>スイッチ・コンセントボックス用片壁防火区画貫通措置</p> <p>中空壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0762他</p> 	
<p>鋼製電線管を用いた防火区画貫通措置部</p> <p>中空壁</p> <p>・不燃材の配電管の場合 以下に準拠する。 建築基準法施行令第112条21項 建築基準法施行令第129条の2の4 ・不燃材以外の配電管の場合 大臣認定工法又は平12 建設省告示第1422による ・建設省告示第1422 配電管：難燃材料もしくは硬質塩化ビニル 肉厚：5.5mm以上</p> 	<p>ケーブルラック防火区画貫通措置</p> <p>床 国土交通大臣認定番号：PS060FL-0223他</p> 	<p>鋼製電線管防火区画貫通措置</p> <p>床 国土交通大臣認定番号：PS060FL-0682他</p> 	<p>合成樹脂管防火区画貫通措置</p> <p>床 国土交通大臣認定番号：PS060FL-0298、0554、0625他</p> 	<p>スイッチ・コンセントボックス用片壁防火区画貫通措置</p> <p>中空壁 国土交通大臣認定番号：PS060WL-0593他</p> 	

注 記 ・ 備 考

	動力制御標準結線図																																																																										
主 回 路 結 線 図	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L																																																															
	電源送り 	電源送り 	トランス付電源送り 	直入始動 	Y-Δ始動 	インバータ・始動・Y-Δ始動切換 	Y-Δ始動自動交互運転 	直入始動自動交互同時運転 	Y-Δ始動自動交互同時運転 	複式直入始動自動交互運転 	エアカーテン有圧気扇回路 	インバータ始動・直入始動切換 																																																															
操 作 制 御 結 線 図	1 手動 	2 手元（手動）－遠方 	3 手動－自動（接点入力） 	4 手元（手動）－中央（監視盤操作） 	5 複式自動交互運転 	6 複式自動交互同時運転 	7 液面水位表示 （2P・3P・4P・5P）－（レベルスイッチも下記に読み替える） 	8 電磁弁制御 	9 油ポンプ（フロートスイッチによる単式運転） 	10 油ポンプ（フロートスイッチによる単式運転） 	11 警報回路 	特記事項 1. 動力制御盤仕様 ◎国交省型 ○メーカー標準型 2. 進相コンデンサ ○有 ◎無 進相コンデンサ取付容量基準（200V 3相誘導電動機1台の場合） <table border="1"><tr><td>定格馬力表示</td><td>1/4</td><td>1/2</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td><td>7.5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td><td>60</td><td>75</td></tr><tr><td>出力kw表示</td><td>0.2</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td><td>11</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>/</td><td>55</td></tr><tr><td>取付容量(MF)</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td><td>75</td><td>100</td><td>150</td><td>200</td><td>250</td><td>300</td><td>400</td><td>500</td><td>600</td><td>750</td></tr></table> ※やむを得ず2台上の電動機に共用コンデンサを取付ける場合のコンデンサ容量は各電動機の定格出力に対応するコンデンサの容量の合計値とすること。 3. 漏電ブレーカ―は保護協調を計るため時延型ELCBとする。また感度電流・動作時間は下記による。 <table border="1"><tr><td>設置場所</td><td>末端(分電盤分枝)</td><td>制御・分電盤主幹</td><td>幹線配電盤</td></tr><tr><td>動作電流</td><td>30mA</td><td>100mA・200mA</td><td>400mA</td></tr><tr><td>動作時間</td><td>0.1sec</td><td>0.3sec</td><td>0.8sec ※</td></tr></table> ※動作時間可変設定形：プラント配電盤の保護協調と同等とする。 4. 5.5kW以上のインバーターにはノイズフィルター付とする。	定格馬力表示	1/4	1/2	1	2	3	5	7.5	10	15	20	25	30	40	50	60	75	出力kw表示	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	/	55	取付容量(MF)	10	15	20	30	40	50	75	100	150	200	250	300	400	500	600	750	設置場所	末端(分電盤分枝)	制御・分電盤主幹	幹線配電盤	動作電流	30mA	100mA・200mA	400mA	動作時間	0.1sec	0.3sec	0.8sec ※
定格馬力表示	1/4	1/2	1	2	3	5	7.5	10	15	20	25	30	40	50	60	75																																																											
出力kw表示	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	/	55																																																											
取付容量(MF)	10	15	20	30	40	50	75	100	150	200	250	300	400	500	600	750																																																											
設置場所	末端(分電盤分枝)	制御・分電盤主幹	幹線配電盤																																																																								
動作電流	30mA	100mA・200mA	400mA																																																																								
動作時間	0.1sec	0.3sec	0.8sec ※																																																																								
注 記 備 考	LS 直入始動 	Y-Δ Y-Δ始動 	開始制御回路 	文化交流センター新築工事 動力標準結線図 S=N.S 設計者：1級建築士登録第37238号 陶山大輝 株式会社三座建築事務所 管理建築士：1級建築士登録第303543号 百武篤								図面番号：E-010																																																															

分電盤特記仕様書

一般仕様

- キャビネットを構成する各部の鋼板厚さは、「表1」による。
- 扉を開いた状態でガター部が見えにくく、充電部が露出しない構造とする。
- 30A以下の分岐遮断器はJIS協約型2P遮断器とする。
- リモコン制御システムは多重伝送フル2線式とする。
- 特記なき分電盤の仕上げは、メーカー標準色塗装仕上げとする。
- 壁内にMCCB・ELCB用接地端子を設けること。
- リモコンシステムが組み込まれた分電盤には、リモコンリレー数に相当するT/U(4回路用)を見込むこと。
また、多重伝送システムの備品として、アドレス設定器(パターン・グループ)を1台納めること。
- 屋外に設置する壁のベースは、溶融亜鉛メッキ塗装仕上げとする。
- 居室内に設置する壁掛型分電盤は、壁上部に天井までの配線ダクトを取り付けること。
- 分岐回路スペースを全回路数の20%分を設けること。

- 分岐遮断器の100Vは片切型、200Vは両切型とする。
- タイマーは年間プログラムタイマー(ソーラー機能付)とすること。
- 単相3線回路の主幹は中性線欠相保護付とする。

表1

構成部	自立壁		壁掛壁	
	屋内	屋外	屋内	屋外
ボックス	2.3mm以上	2.0mm以上	2.3mm	2.0mm
取付板	1.6mm以上	2.0mm以上	2.3mm	2.0mm
扉部機器取付面	3.2mm以上	3.0mm以上	2.3mm	2.0mm

外形図

標準結線図

凡 例

n	AC 1φ2W 100V 主幹一次側回路	6n	AC-GC 1φ2W 100V 主幹一次側回路
10n	AC 1φ2W 100V 照明	50n	AC-GC 1φ2W 100V 照明
20n	AC 1φ2W 200V 照明	60n	AC-GC 1φ2W 200V 照明
30n	AC 1φ2W 100V コンセント	70n	AC-GC 1φ2W 100V コンセント
40n	AC 1φ2W 200V コンセント	80n	AC-GC 1φ2W 200V コンセント
F10n	AC 1φ2W 100V 空調・換気他	F50n	AC-GC 1φ2W 100V 空調・換気他
F20n	AC 1φ2W 200V 空調・換気他	F60n	AC-GC 1φ2W 200V 空調・換気他

多重伝送フル2線式システム

▲	20Aリモコンリレー(個数は傍記による)
T/U	ターミナルユニット 4回路用(個数は傍記による)
CPU	伝送ユニット
TR	リモコントランス
TM	年間プログラムタイマー(ソーラー機能付)
T/D	ターミナルユニット付LED調光ユニット
EC	自動点滅器連動ユニット
EC	外部接点入力ターミナルユニット 4回路用
電磁接触器システム	
24	常時点灯
MC	電磁接触器
AS	自動点滅器
TM	年間プログラムタイマー(ソーラー機能付)

操作回路

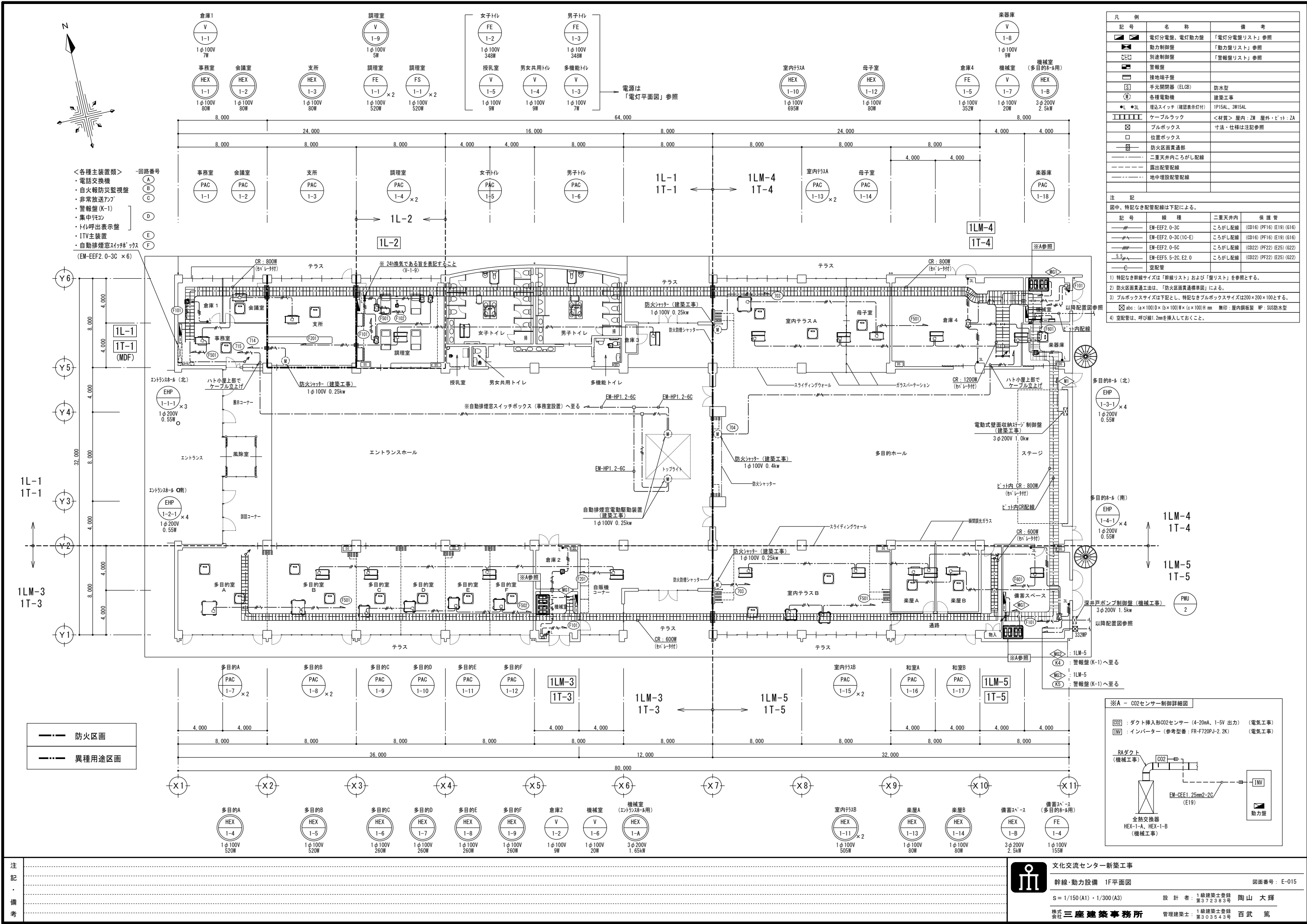
多重伝送フル2線式システム













電磁接触器システム ※シーケンスは参考とし、パターンフロー図の機能を満たすこと

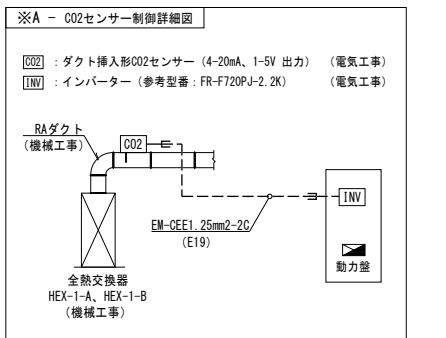
盤名称 キャビネット形式 幹線番号 幹線サイズ	主開閉器 結線図	回路 番号	分岐開閉器					負荷容量 (VA)					負荷名称	備 考
			電圧 (V)	遮断器	リモコン リレー	電磁 接触器	P AF/AT	電灯	コンセ ット	空調	その他	予備		
1L-1 電灯分電盤 屋内自立型 鋼板製 1P-2X AC 1φ3W 210/105V L101 EM-CET150sq ▲ × 10 T/U × 3 TR		誘	100	M			2P	50/20	10				誘導灯	
		非	100	M			2P	50/20	40				非常照明	
		101	100	M			2P	50/20	40				倉庫1	
		102	100	M	1		2P	50/20	40				エントランスール	R5
		103	100	M	1		2P	50/20	740				エントランスール	R7
		104	100	M	1		2P	50/20	370				エントランスール	R9
		105	100	M		○	2P	50/20	130				エントランス、ガラス	AT
		106	100	E		○	2P	50/20	40				エントランス(屋外サイン用)	AT
		107	100	M			2P	50/20					予備	
		108	100	M			2P	50/20					予備	
		301	100	E			2P	50/20	300				倉庫1, 屋外	
		302	100	M			2P	50/20	750				授乳室, 女子トイレ, 男子トイレ他	
		303	100	E			2P	50/20	1,300				男女共用トイレ	ウオッシュレット
		304	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		305	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		306	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		307	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		308	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		309	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		310	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		311	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		312	100	E			2P	50/20	1,300				女子トイレ	ウオッシュレット
		313	100	E			2P	50/20	1,300				男子トイレ	ウオッシュレット
		314	100	E			2P	50/20	1,300				男子トイレ	ウオッシュレット
		315	100	E			2P	50/20	1,300				男子トイレ	ウオッシュレット
		316	100	E			2P	50/20	1,300				男子トイレ	ウオッシュレット
		317	100	E			2P	50/20	1,300				男子トイレ	ウオッシュレット
		318	100	E			2P	50/20	1,300				多機能トイレ	ウオッシュレット
		319	100	E			2P	50/20	450				エントランスール、ガラス	
		320	100	M			2P	50/20			100		事務室	温湿度表示器
		321	100	E			2P	50/20			50		屋外	温湿度センサー (AC/DCコンバーター)
		322	100	M			2P	50/20					予備	
		323	100	M			2P	50/20					予備	
		401	200	M			2P	50/20					予備	
		402	200	M			2P	50/20					予備	
		F101	100	M			2P	50/20			10		倉庫1	換気扇
		F201	200	M			2P	50/20			1,840		室内機EHP-1-1-1 エントランス系統	
		各負荷計						1,410	22,300	1,850	150	0		
		総合計						25,710						

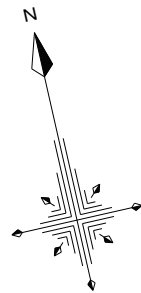
注	
記	
・	
備	
考	

	文化交流センター新築工事	
	電灯分電盤リスト (1)	
S=N.S		図面番号: E-012
設計者: 1級建築士登録 第372383号 陶山 大輝		
株式会社 三座建築事務所		管理建築士: 1級建築士登録 第303543号 百武 篤



凡 例			
記 号	名 称	備 考	
	電灯分電盤、電灯動力盤	「電灯分電盤リスト」参照	
	動力制御盤	「動力盤リスト」参照	
	別途制御盤	「警報盤リスト」参照	
	警報盤		
	接地端子盤		
	手元開閉器 (ELCB)	防水型	
	各種電動機	建築工事	
●L ●3L	埋込スイッチ (確認表示灯付)	1P15AL、3W15AL	
	ケーブルラック	<材質> 屋内: ZM 屋外・ビット: ZA	
	プルボックス	寸法・仕様は注記参照	
	位置ボックス		
	防火区画貫通部		
——・——	二重天井内ころがし配線		
——————	露出配管配線		
——・————	地中埋設配管配線		
注 記			
図中、特記なき配管配線は下記による。			
記 号	線 種	二重天井内	保 護 管
——●——	EM-EFF2 0-3C	ころがし配線	(CD16) (PF16) (E19) (G16)
——●——	EM-EFF2 0-3C (10-E)	ころがし配線	(CD16) (PF16) (E19) (G16)
——●——	EM-EFF2 0-5C	ころがし配線	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
5.5 ——●——	EM-EFF5 5-2C, E2, 0	ころがし配線	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
——C——	空配管		
1) 特記なき幹線サイズは「幹線リスト」および「壁リスト」を参照とする。			
2) 防火区画貫通工法は、「防火区画貫通標準図」による。			
3) プルボックスサイズは下記とし、特記なきプルボックスサイズは200×200×100とする。			
 abc: (a×100)D×(b×100)H×(c×100)H mm 無印: 屋内鋼板製 WP: SUS防水型			
4) 空配管は、呼び径1.2mmを挿入しておくこと。			

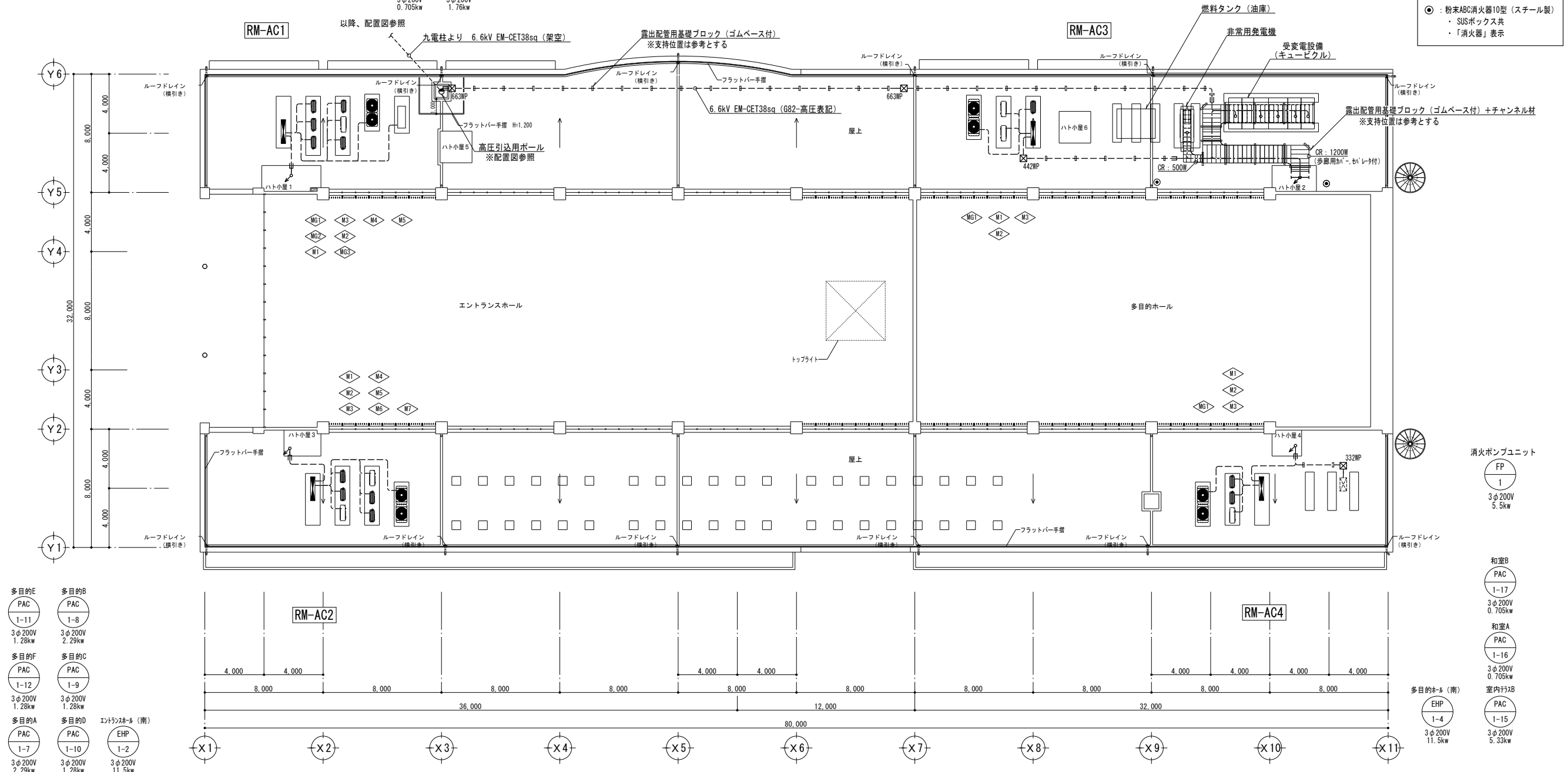




【受変電設備（キュービクル）】		参考寸法（W×D×H）
①	高圧受電盤	900×2200×2000
②	高圧コンデンサ盤	800×2200×2000
③	低圧電灯盤（75KVA×1）	1000×2200×2000
④	低圧動力盤（150KVA×1）	1300×2200×2000
⑤	非常保安動力盤	900×2200×2000
⑥	非常保安電灯盤（30KVA×1）	900×2200×2000

【非常用発電機】	【燃料タンク（油庫）】
発電機容量：105kVA/84kW	燃料：軽油 980L

- 消火器凡例
- ：粉末ABC消火器10型（スチール製）
 - ・ SUSボックス共
 - 「消火器」表示



【本図は参考とし、同等品以上を設置すること】

一般照明 器具参考図											
A	LEDベースライト 埋込型40形 W220	B	LEDベースライト 直付型40形 W150	C	LEDベースライト 直付型 高光束タイプ W40	Da	LEDダウンライト 埋込型 Φ100	Db	LEDダウンライト 埋込型 Φ100	Dc	LEDダウンライト 埋込型 Φ125
A52d	消費電力：26.3W 4,960lm 5000K 調光(10～100%)	B32	消費電力：20.6W 3,200lm 5000K	C45d	消費電力：30.6W 4,530lm 3500K（温白色） 調光(5～100%)	Da06	消費電力：4.2W 595lm 3500K（温白色）	Db15	消費電力：11.6W 1,680lm 5000K	Dc25d	消費電力：18.6W 2,360lm 3500K（温白色） 調光(1～100%)
		B52	消費電力：31.9W 5,200lm 5000K			Da10	消費電力：7.0W 1,010lm 3500K（温白色）				
						Da15	消費電力：11.6W 1,640lm 3500K（温白色）				
Cチャンネル回遊型、省エネタイプ 定格出力型、電圧100～242V 約10～100%連続調光型 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 星白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ 定格出力型、電圧100～242V 約10～100%連続調光型 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 星白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		LED内蔵・電源ユニット内蔵、高光束タイプ 電圧100～242V 3500K、Ra83、調光可能（約5～100%） 本体：アルミ（ホワイ）、取付板：亜鉛銅板 カバー：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） L1200タイプ		LED内蔵くワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：銅板（ホワイつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ100		LED内蔵くワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：銅板（ホワイつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ100		LED内蔵くワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：アルミ（ホワイつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ125	
参考品番：XLX450FHP-LA9 公：－		B32 参考品番：XLX430AENP-LE9 公：LSS9-4-30 B52 参考品番：XLX450AENP-LE9 公：LSS9-4-48		参考品番：NNF51202-LR9 公：－		Da06 参考品番：XND0639WV-LE9 公：－ Da10 参考品番：XND1039WV-LE9 公：－ Da15 参考品番：XND1539WV-LE9 公：－		参考品番：XND1539WV-LE9 公：－		参考品番：XND2557WV-LJ9 公：－	
Dd	LEDダウンライト 埋込型 Φ125	De	LED軒下用ダウンライト 埋込型	Df	LED高天井形ダウンライト 埋込型	E	LEDブラケット 直付型	F	LEDベースライト 埋込型40形 W150 防湿型	G	LED照明付化粧鏡（機械工事）
Dd35d	消費電力：29.1W 3,790lm 3500K（温白色） 調光(1～100%)	De15W	消費電力：15.5W 1,540lm 5000K	Df100d	消費電力：68.8W 9,895lm 3500K（温白色） 調光(1～100%)	E13	消費電力：11.2W 1,300lm 2700K（電球色）	F52	消費電力：32.5W 4,940lm 5000K		消費電力：18.6W 5000K
		De35W	消費電力：30.7W 3,605lm 5000K								
LEDくワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般タイプ、拡散タイプ 調光可能範囲（約1%～100%）、光源遮光角30度、DALI-2対応 光源寿命：60000時間（光束維持率80%）、3500K、Ra85 電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：アルミ（ホワイつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ125		LEDくワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、軒下用（防雨型） 光源遮光角15度 光源寿命：40000時間（光束維持率85%）、5000K、Ra85 電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイつや消し仕上） パネル：アクリル（透明）		LEDくワコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般タイプ、拡散タイプ 調光可能範囲（約1%～100%）、光源遮光角30度、DALI-2対応 光源寿命：60000時間（光束維持率80%）、3500K、Ra85 電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ150		電球色（2700K）、高演色Ra93、電圧100V 拡散タイプ、美ルック、電源ユニット内蔵 両面化粧タイプ、ツマミネジ方式 カバー：プラスチック（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率70%） W=540 H=38 出しろ76		定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）・アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、星白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		外形寸法：350×150×1000 定格出力型、電圧100V 星白色（5000K）	
参考品番：XND3557WV-LZ9 公：－		De15W 参考品番：XNW2031WN-LE9 公：－ De35W 参考品番：XNW3581WN-LZ9 公：－		De35W 参考品番：XND9067SV-LJ9 公：－		参考品番：LGB85039K-LE9 公：－		参考品番：XLW452AENZ-LE9 公：－		参考品番：EL80018（TOTO） 公：－	
H	LEDライン照明 L1200タイプ	J	LEDスポットライト 防雨型	K	LEDスポットライト アーム付 防雨型						
H25d	消費電力：24.9W 2,416lm 5000K 調光(1～100%)	J11W	消費電力：17.1W 1,140lm 4000K（白色）	K08W	消費電力：10.0W 809lm 5000K						
定格出力型、電圧100V 星白色（5000K）、Ra83 天井直付型・壁直付型・据置取付型、拡散タイプ （ホワイ）、カバー（乳白つや消し）付 位相制御式（2線式）、送り用端子台付 光源寿命40000時間（光束維持率70%） L1200タイプ		定格出力型、電圧100V 白色（4000K）、Ra84 天井直付型・壁直付型・据置取付型 本体：アルミダイカスト（ミディアムグレイメタリック） 光源寿命40000時間（光束維持率70%）、ビーム角16° 適合埋込ボックス共		定格出力型、電圧100V 星白色（5000K）、Ra70 壁直付型 本体：アルミダイカスト（ミディアムグレイメタリック） 光源寿命40000時間（光束維持率85%）、ビーム角45°							
参考品番：LGB50069-LB1 公：－		参考品番：YYY31112K-LE1 + YYY90130 公：－		参考品番：NNV24110HK-LE1 公：－							

< 非常照明 記号参考 >

a9
W相当
a: 埋込形、b: 直付形

< 誘導灯 記号参考 >

XB1W
W: 防雨・防湿型
1: 片面、2: 両面、3: 片面両方向、4: 両面両方向
B: B級BL形、C: C級
X: 避難口誘導灯、Y: 通路誘導灯

非常照明・誘導灯 器具参考案図											
a	非常用照明器具専用形 一般形（埋込φ100）	a	非常用照明器具専用形 一般形（埋込φ100）	a	非常用照明器具専用形 一般形（埋込φ100）	X	LED避難口誘導灯 天井・壁直付	X	LED避難口誘導灯 天井・壁直付	Y	LED通路誘導灯 天井・壁直付
a9	LED9形 低天井用（電池内蔵形）	a13	LED13形 低天井用（電池内蔵形）	a30	LED30形 高天井用（電池内蔵形）	XB1	LED1.7W B級・BL形片面（電池内蔵）	XC1	LED1.1W C級片面（電池内蔵）	YC1	LED1.1W C級片面（電池内蔵）
非常灯評定番号：LALE-004 消費電力：0.9W (告示1830号適合)		非常灯評定番号：LALE-004 消費電力：1W (告示1830号適合)		非常灯評定番号：LALE-006 消費電力：1.3W (告示1830号適合)		型式認定番号：1AM111-3209 消費電力：1.7W		型式認定番号：1AS111-3618 消費電力：1.1W		型式認定番号：1AS111-3618 消費電力：1.1W	
○寸法：径φ100×高74（埋込穴寸法） ○本体：アルミダイカスト ○枠：銅板（クールホワイ）つや消し仕上） ○レンズ：ガラス ○リモコン自己点検機能付		○寸法：径φ100×高74（埋込穴寸法） ○本体：アルミダイカスト ○枠：銅板（クールホワイ）つや消し仕上） ○レンズ：ガラス ○リモコン自己点検機能付		○寸法：径φ100×高74（埋込穴寸法） ○本体：アルミダイカスト ○枠：銅板（クールホワイ）つや消し仕上） ○レンズ：ガラス ○リモコン自己点検機能付		○寸法：218×241×48 ○本体：樹脂（白 マンセル値 N9.0） ○リモコン点検機能付		○寸法：148×174×47 ○本体：樹脂（白 マンセル値 N9.0） ○リモコン点検機能付		○寸法：148×174×47 ○本体：樹脂（白 マンセル値 N9.0） ○リモコン点検機能付	
保守率 0.92 (230 lm)		保守率 0.92 (370 lm)		保守率 0.92 (1050 lm)							
取付の高さ		取付の高さ		取付の高さ							
2.1m		2.1m		5.0m							
2.4m		2.4m		6.0m							
2.6m		2.6m		7.0m							
3.0m		3.0m		8.0m							
3.6m		3.6m		9.0m							
4.0m		4.0m		10.0m							
単位配置 A1		単位配置 A1		単位配置 A1							
3.8		4.2		6.5							
4.0		4.6		7.4							
9.4		10.2		14.2							
9.9		10.8		16.3							
10.1		11.9		18.1							
10.1		12.9		19.9							
直線配置 A2		直線配置 A2		直線配置 A2							
8.5		9.3		11.2							
7.6		8.2		12.8							
8.1		8.7		14.3							
8.3		9.6		15.7							
8.9		11.7		17.1							
西角配置 A4		西角配置 A4		西角配置 A4							
6.9		7.4		11.2							
参考品番：NNFB90605K 公：K1-LRS11-1		参考品番：NNFB91605C 公：K1-LRS11-2		参考品番：NNFB93607C 公：－		参考品番：FA20312CLE1+FK20300 公：SH1-FBF20-BL		参考品番：FA10312CLE1+FK10300 公：SH1-FBF20-C		参考品番：FA10312CLE1+FK10317（FK10316） 公：ST1-FBF22-C	

注
記
・
備
考



文化交流センター新築工事

電灯・非常照明・誘導灯設備 器具参考案図

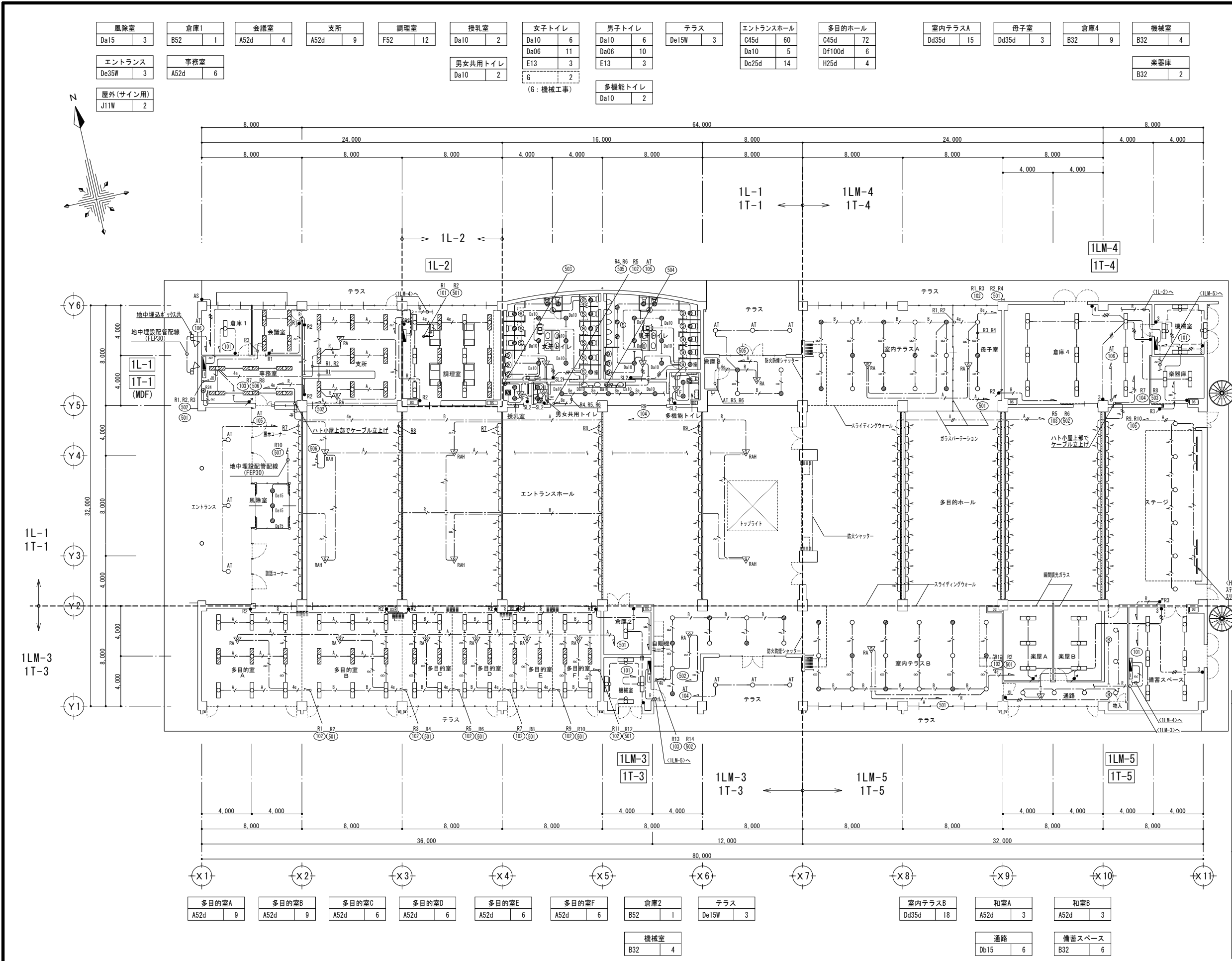
図面番号：E-017

S=N.S

設計者：1級建築士登録 第372383号 陶山 大輝

株式会社 三座建築事務所

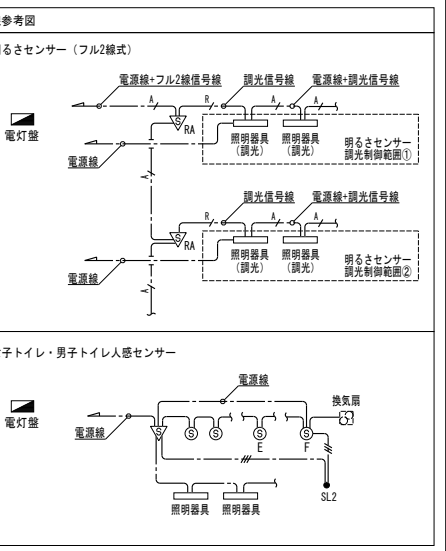
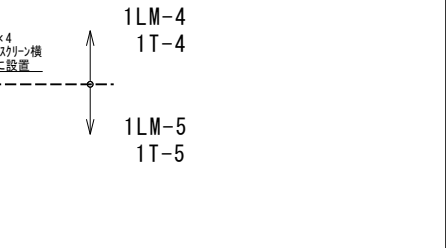
管理建築士：1級建築士登録 第30343号 百武 篤

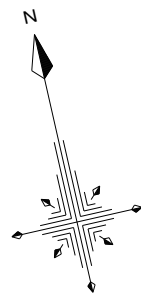


凡 例	記 号	名 称	備 考
電灯分電盤、電灯動力盤	■	「電灯分電盤リスト」参照	
（一般照明）換電機回路	〇	ベースライト	「照明器具 参考図」参照
〇	〇	ベースライト	「照明器具 参考図」参照
〇	〇	ダウンライト	「照明器具 参考図」参照
〇	〇	ブラケット	「照明器具 参考図」参照
〇	〇	スポットライト	「照明器具 参考図」参照
●	●	埋込スイッチ	1P15A、3P15A（3路）、4P15A（4路）
●	●	埋込スイッチ（確認表示灯付）	1P15AL
●	●	人感センサ操作スイッチ	人・切・自動 1回路用、2回路用
●	●	調光スイッチ	
●	●	フル2線式リモコンスイッチ	傍記は回路数を示す
●	●	フル2線式リモコン調光スイッチ	傍記は回路数を示す
●	●	フル2線式リモコンセンサスイッチ	傍記は回路数を示す
●	●	熱線センサスイッチ 縦機	広角検知形
●	●	熱線センサスイッチ 縦機	換気扇消し遅れ機能付
●	●	熱線センサスイッチ 子機	広角検知形
●	●	熱線センサスイッチ 子機	換気扇接続端子付
●	●	熱線センサスイッチ 子機	子機増設型
●	●	明るさセンサー	リモコン回路用
●	●	明るさセンサー	リモコン回路用 高天井型
●	●	自動点滅器	
●	●	プルボックス	寸法・仕様は注記参照
□	□	位置ボックス、ジョイントボックス	
○	○	丸形露出ボックス	
—	—	二重天井内ころがし配線	
—	—	隠蔽配管配線	
—	—	床下隠蔽配管配線	

注 記			
図中、特記なき配管配線は下記による。			
記 号	線 種	二重天井内	保 護 管
EM-EFF2 0-3C (10-E)	ころがし配線	〇	(CD16) (PF16) (E19) (G16)
EM-EFF2 0-2C	ころがし配線	〇	(CD16) (PF16) (E19) (G16)
EM-EFF2 0-3C	ころがし配線	〇	(CD16) (PF16) (E19) (G16)
EM-EFF2 0-6C	ころがし配線	〇	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
EM-EFF2 0-2C×2+10-E	ころがし配線	〇	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
EM-EFF2 0-2C×3+10-E	ころがし配線	〇	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
EM-EFF2 0-2C×4+10-E	ころがし配線	〇	(CD28) (PF28) (E31) (G28)
EM-OPE1 2-1P (番号線)	ころがし配線	〇	(CD16) (PF16) (E19) (G16)
EM-OPE1 2-1P (番号線)	ころがし配線	〇	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
EM-EFF2 0-3C (10-E) (電源線)	ころがし配線	〇	(CD22) (PF22) (E25) (G22)
EM-OPE1 2-1P (番号線)	ころがし配線	〇	(CD28) (PF28) (E31) (G28)
EM-EFF2 0-2C×2+10-E (電源線)	ころがし配線	〇	(CD28) (PF28) (E31) (G28)

1) 特記なき限り天井内はころがし配線とし、ケーブルの立上り・引下げ及び二重天井は、適合する電線管にて保護する。
2) 防火区画貫通工法は、「防火区画貫通標準手冊」による。
3) プルボックスサイズは下記とし、特記なきプルボックスサイズは200×200×100とする。
abc: (a×100)D×(b×100)W×(c×100)H mm 無印: 屋内鋼板製 WP: SUS防湿型





屋上 (サイン用)	
K08W	4

注
記
・
備
考



文化交流センター新築工事

電灯設備 RF平面図

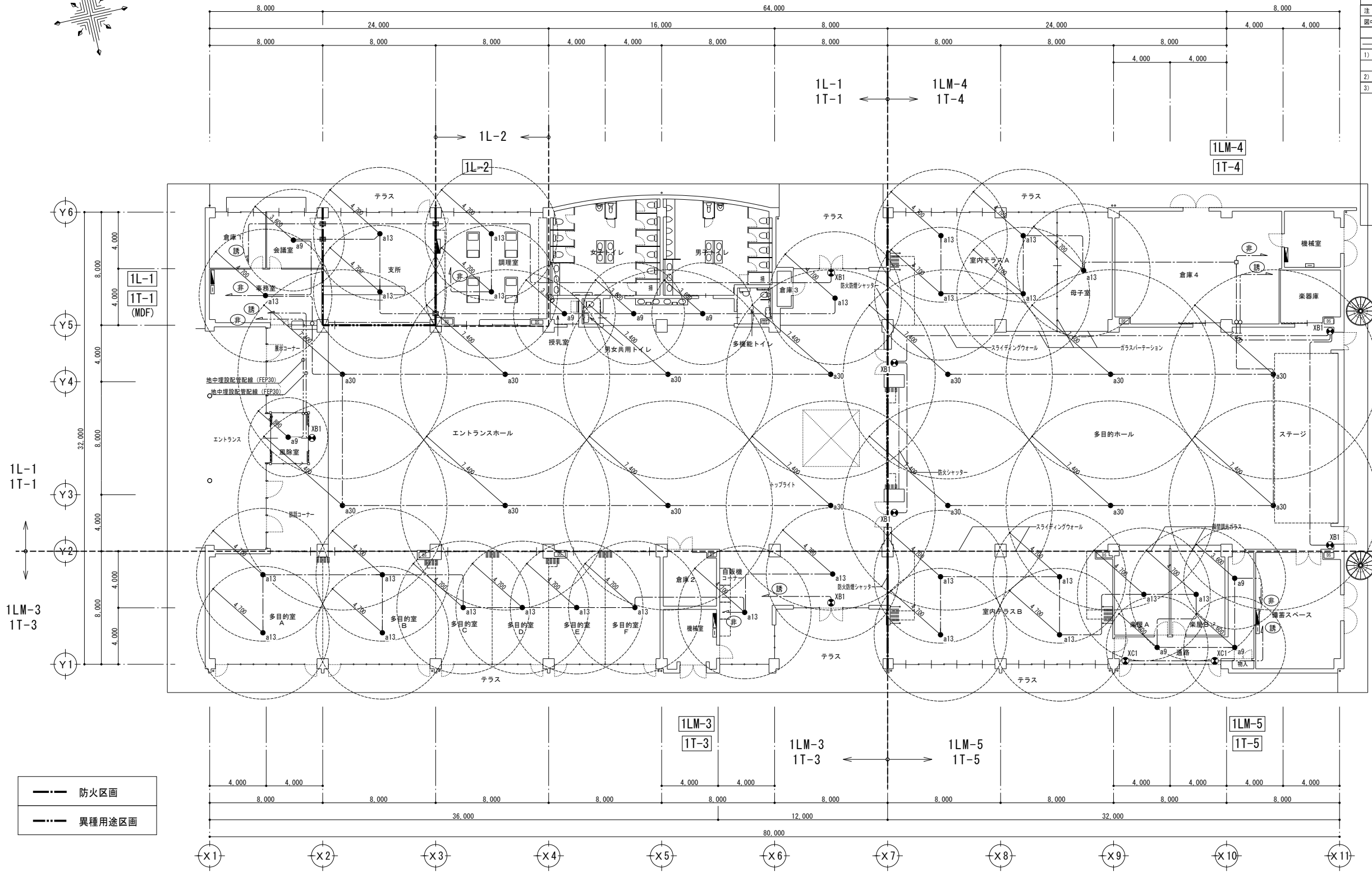
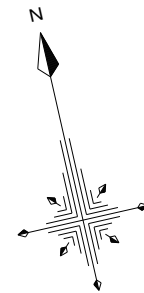
図面番号: E-019

S = 1/150 (A1) - 1/300 (A3)

設計者: 1級建築士登録 陶山 大輝
第372383号

株式会社 三座建築事務所

管理建築士: 1級建築士登録 百武 篤
第303543号



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤、電灯動力盤	「電灯分電盤リスト」参照
	非常照明	「照明器具（非常照明・誘導灯）参考表」参照
	避難口誘導灯	「照明器具（非常照明・誘導灯）参考表」参照
	通路誘導灯	「照明器具（非常照明・誘導灯）参考表」参照
二重天井内 〆配線		
	回路番号	AC 1φ100V
	回路番号	AC 1φ100V 主幹一次側送り

注 記

図中、特記なき配線配線は下記による。

記 号	線 種	二重天井内	隔 蔽 部
EM-EFF2 0-30 (10-E)	〆配線	〆配線	(C022)

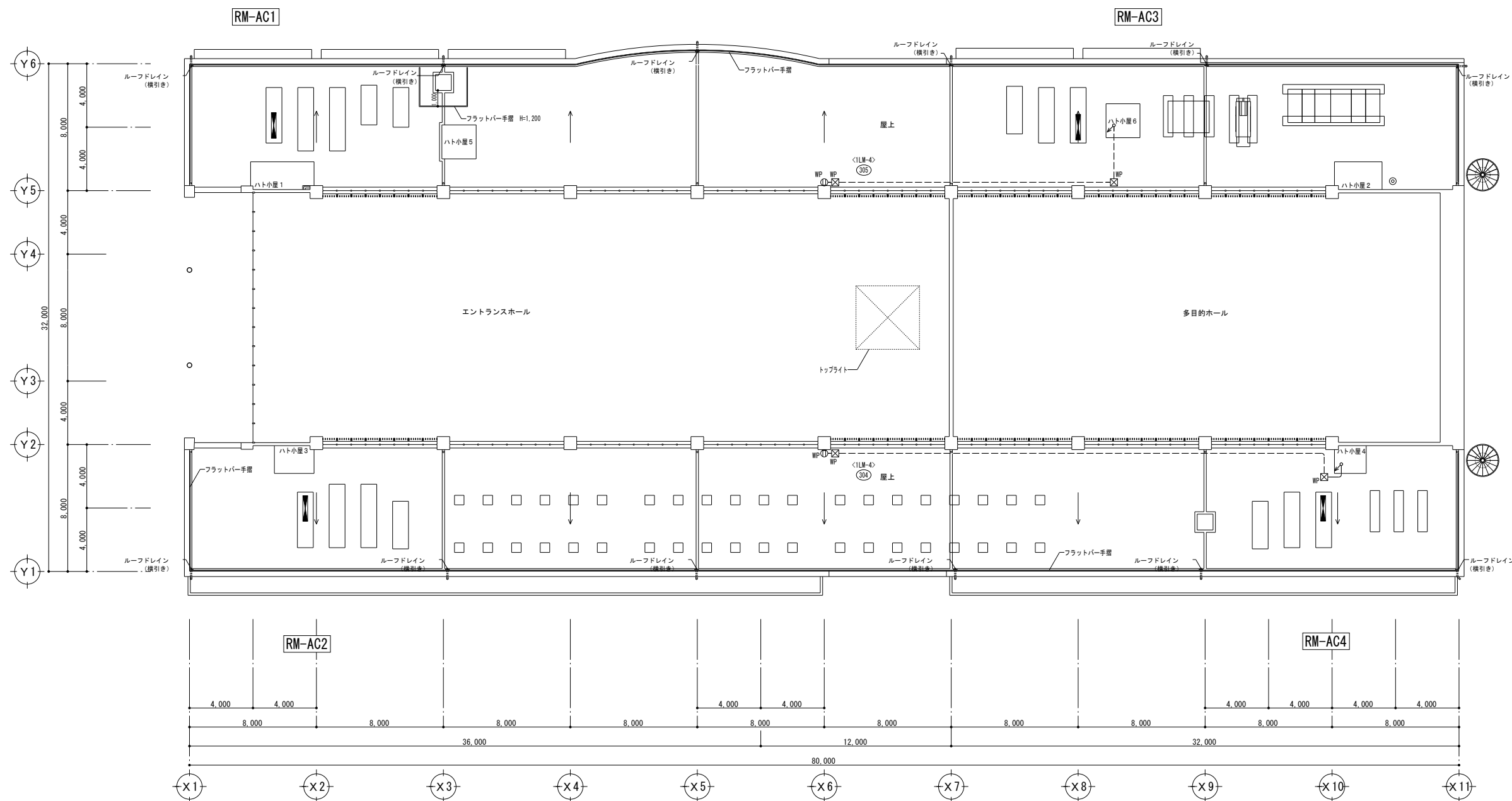
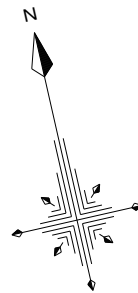
1) 特記なき限り天井内は〆配線とし、ケーブルの立上り・引下げ及び天井内は適合する電線管にて保護する。


2) 防火区画貫通工法は、「防火区画貫通標準図」による。

3) 非常照明及び誘導灯の傍記は下記を示す。

非常照明 2lx 範囲
器具記号
非常照明 凡例

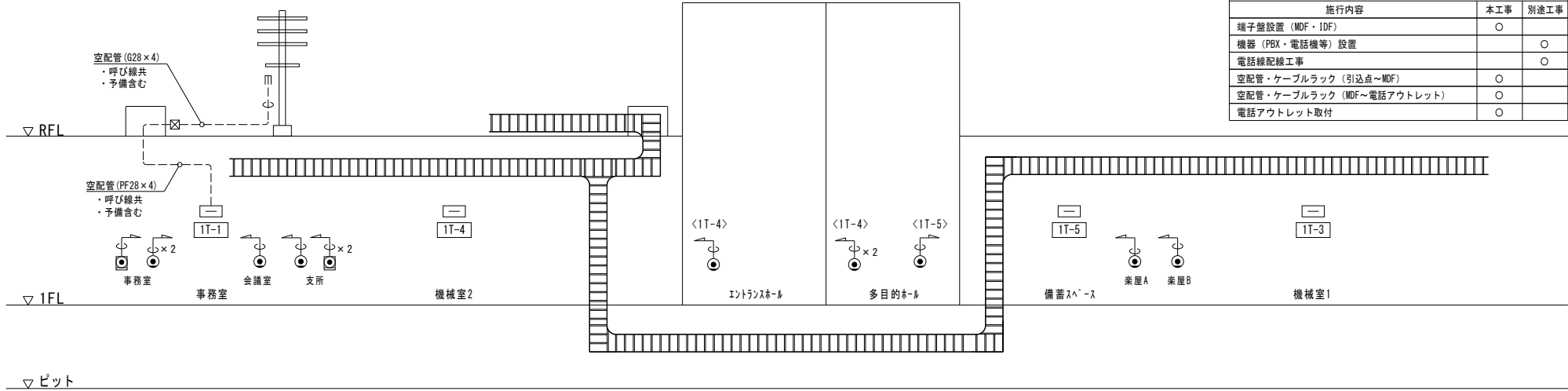
避難方向
器具記号
誘導灯 凡例



注 記 ・ 備 考			文化交流センター新築工事			図面番号：E-022
			コンサート設備 RF平面図			
			S = 1/150 (A1) ・ 1/300 (A3)			
			設 計 者：	1級建築士登録 第372383号	陶山 大輝	
			株式会社 三座建築事務所	管理建築士：	1級建築士登録 第303543号	

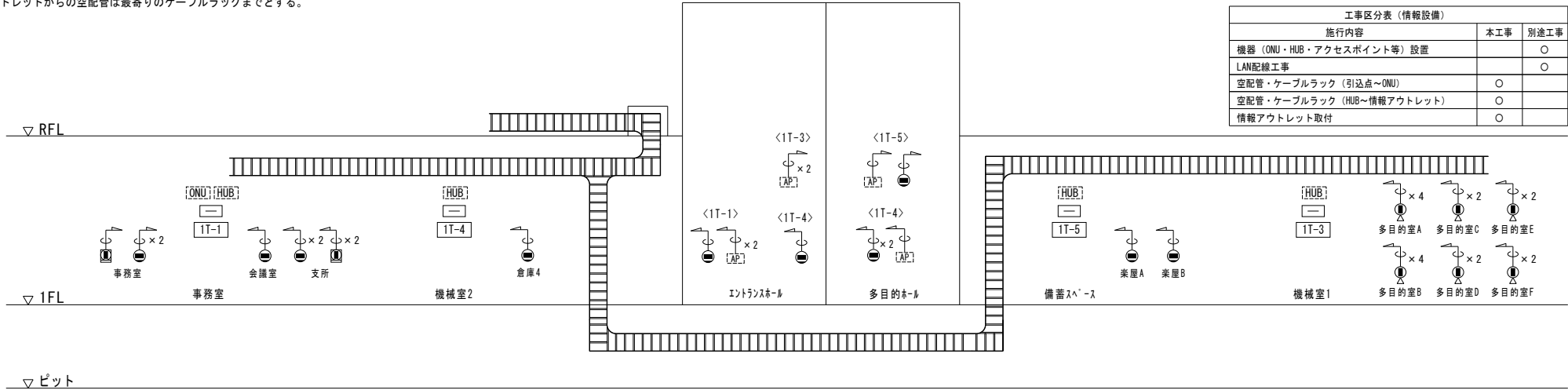
電話設備 系統図

※アウトレットからの空配管は最寄りのケーブルラックまでとする。

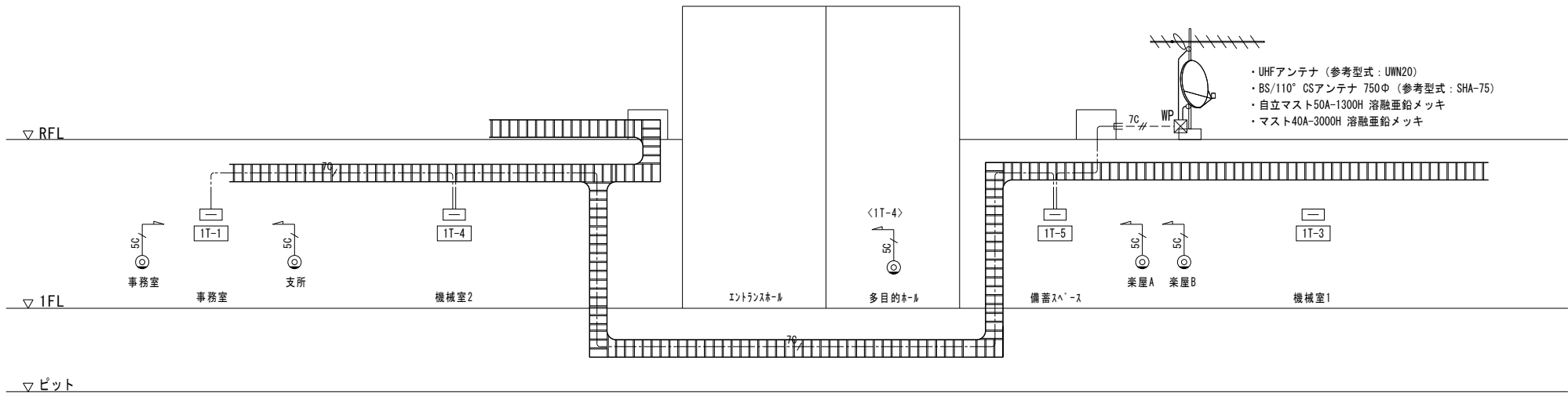


情報設備 系統図

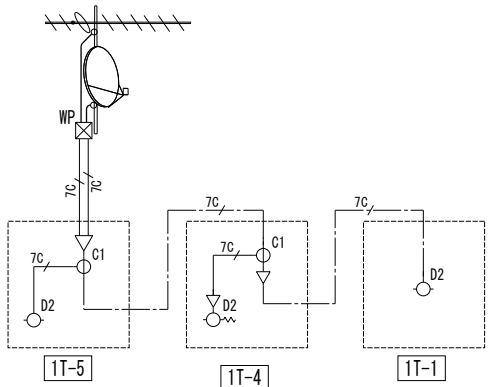
※アウトレットからの空配管は最寄りのケーブルラックまでとする。



TV共聴設備 系統図

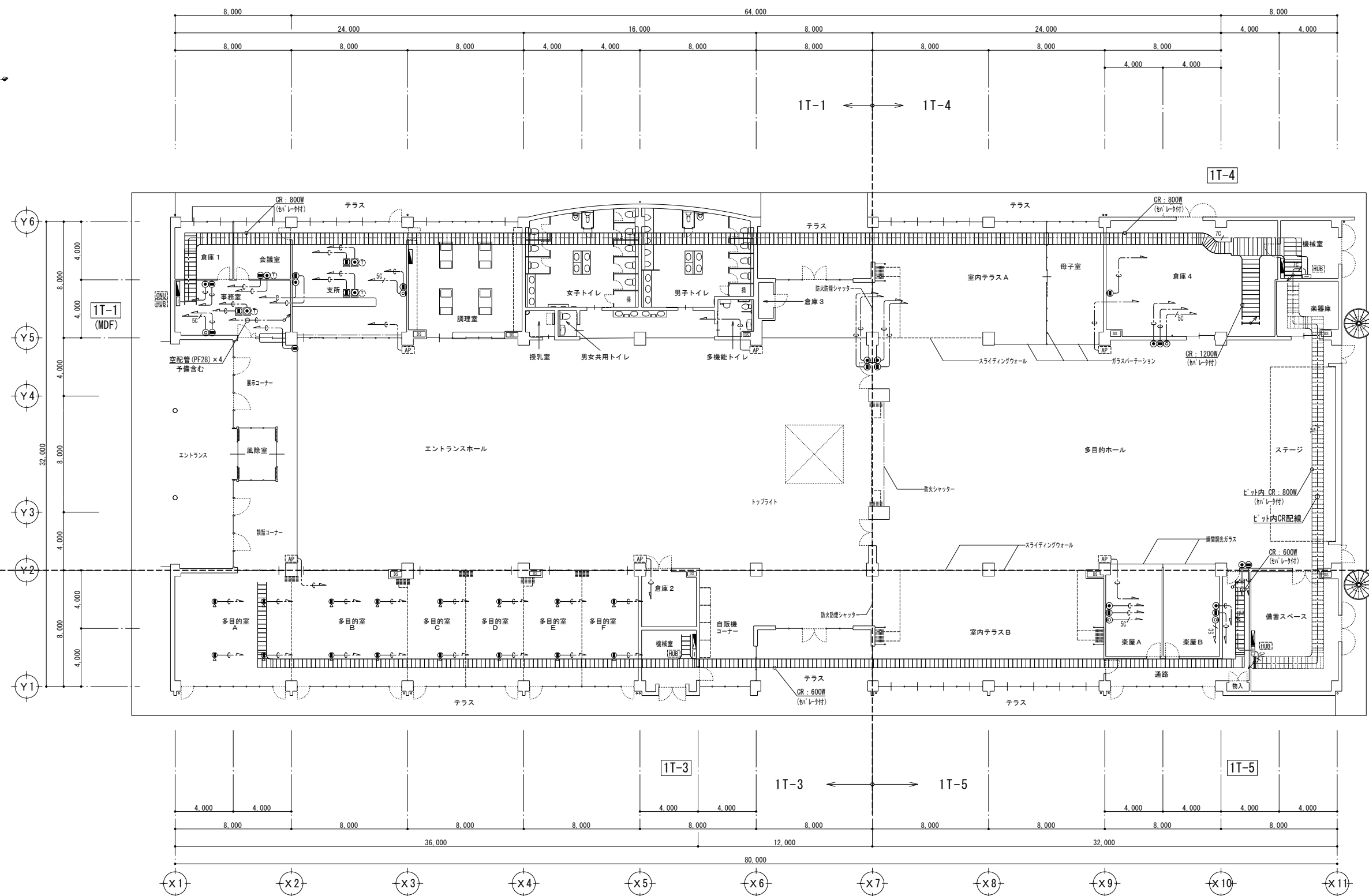


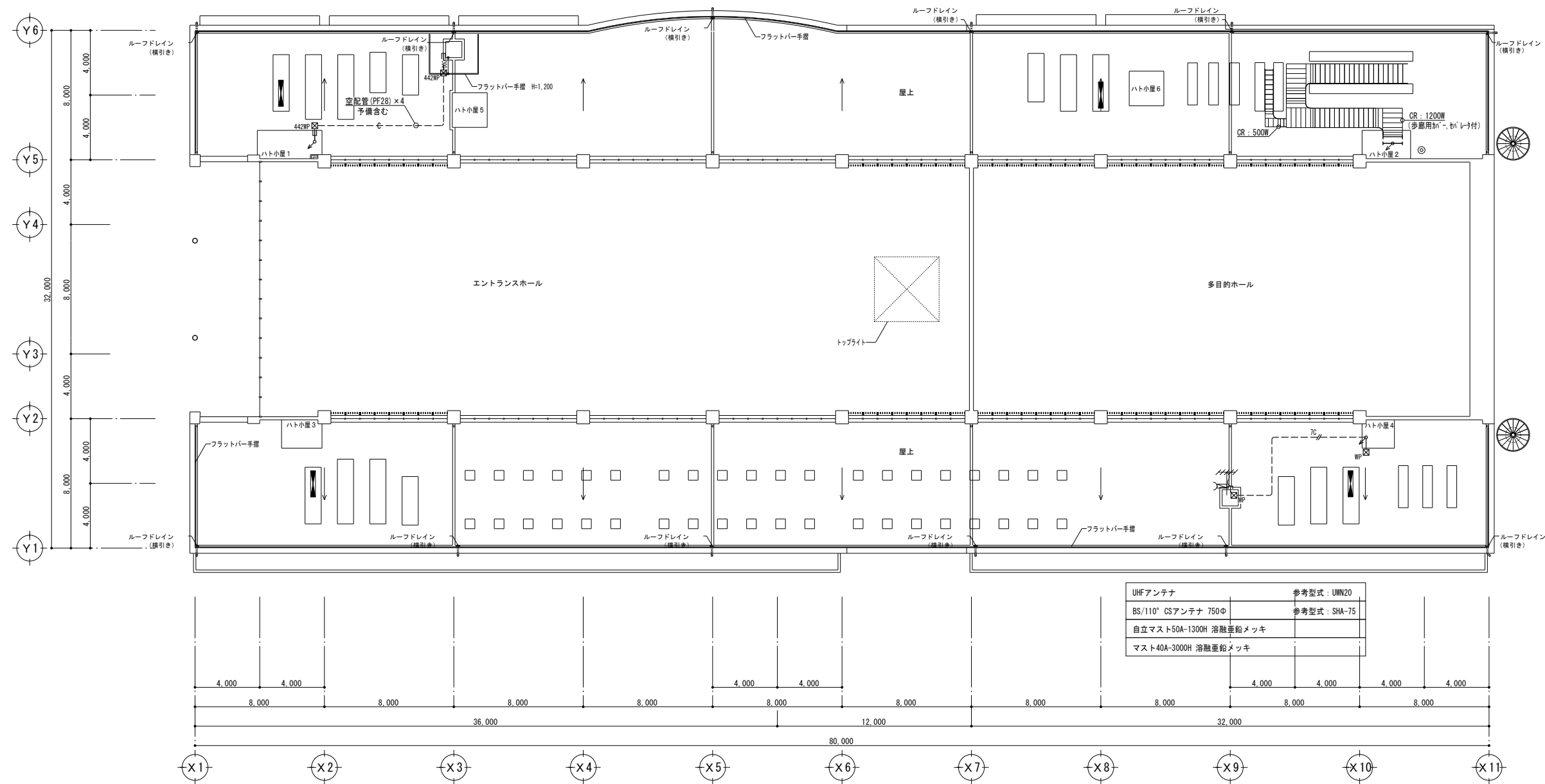
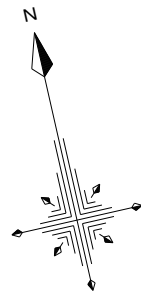
システム図



注	
記	
備	
考	

	文化交流センター新築工事
電話・情報設備・TV共聴設備 系統図	図面番号：E-023
S=N.S	設計者：1級建築士登録 第372383号 陶山 大輝
株式会社 三座建築事務所	管理建築士：1級建築士登録 第303543号 百武 篤





注
記
・
備
考



文化交流センター新築工事

電話・情報設備・TV共聴設備 RF平面図

図面番号: E-025

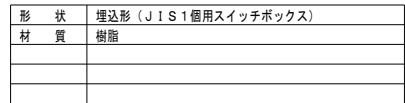
S= 1/150 (A1)・1/300 (A3)

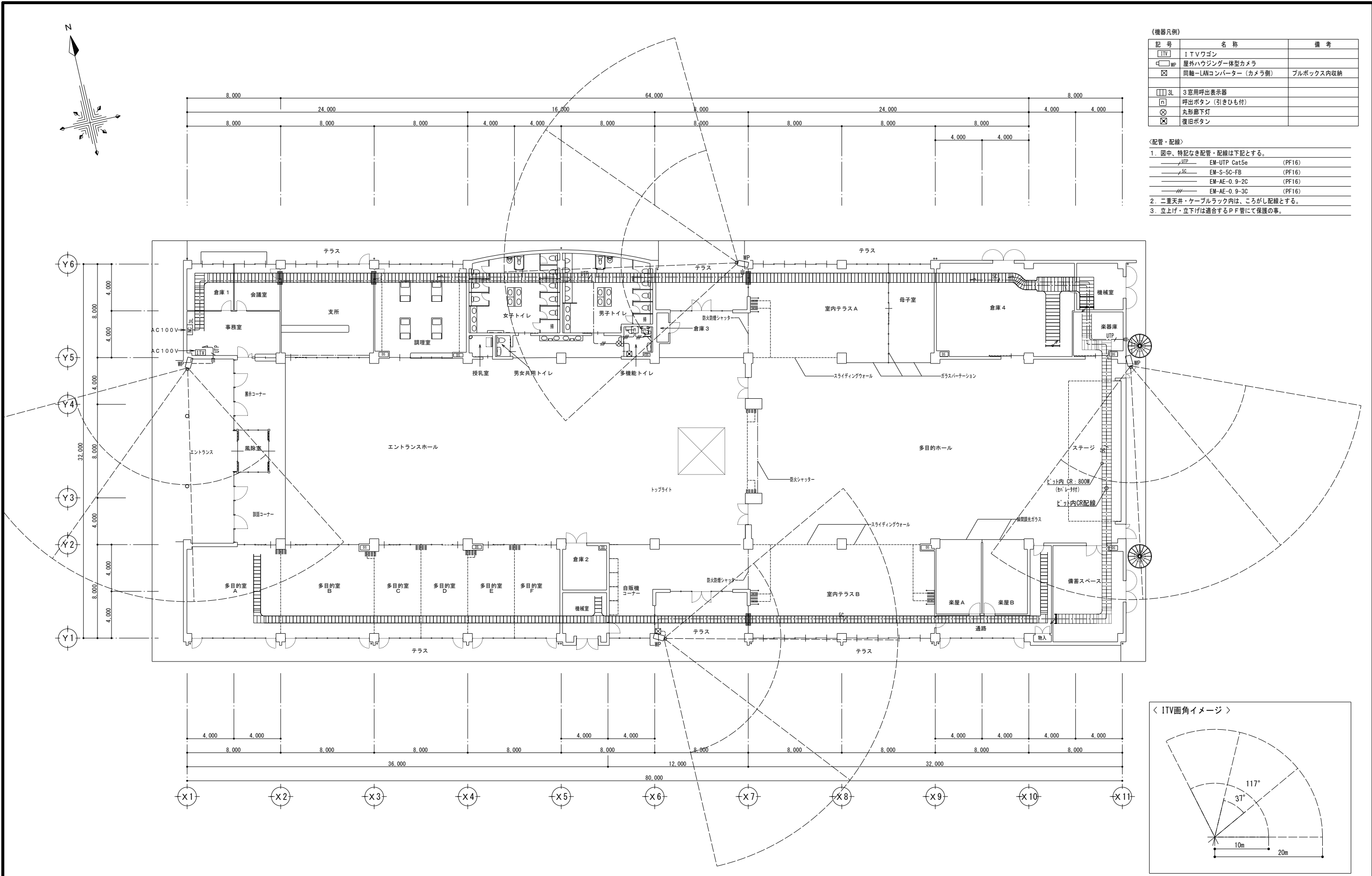
設計者: 1級建築士登録 陶山 大輝
第372383号

株式会社 三座建築事務所

管理建築士: 1級建築士登録 百武 篤
第303543号

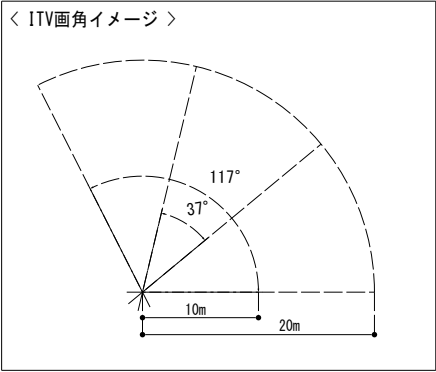
3 窓用呼出表示器





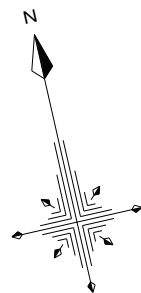
（機器凡例）		
記 号	名 称	備 考
ITV	1 TVワゴン	
WP	屋外ハウジング一体型カメラ	
同軸-LANコンバーター（カメラ側）		ブルボックス内収納
3L	3 窓用呼出表示器	
呼出ボタン（引きひも付）		
丸形廊下灯		
復旧ボタン		

- ＜配管・配線＞
1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。
- | | | |
|-----|--------------|--------|
| UTP | EM-UTP Cat5e | (PF16) |
| SC | EM-S-5C-FB | (PF16) |
| | EM-AE-0.9-2C | (PF16) |
| /// | EM-AE-0.9-3C | (PF16) |
2. 二重天井・ケーブルラック内は、ころがし配線とする。
3. 立上げ・立下げは適合するP F 管にて保護の事。



注
記
・
備
考

[illegible]



〈機器凡例〉

記 号	名 称	備 考
AMP	壁掛形防災アンプ	
SP	天井埋込スピーカー	
SP	天井埋込スピーカー (A T T 付)	1W
3W	天井埋込スピーカー (A T T 付)	3W
MP	天井埋込スピーカー (防滴型)	
ア	アッテネーター	
C	カトリレー	
No	非常放送系統No	
No	業務放送系統No	
AMP L	卓上型デジタルアンプ	母子室音管
A	接続プレートA	母子室音管
B	接続プレートB	母子室音管
SP	天井埋込スピーカー	母子室音管

〈配管・配線〉

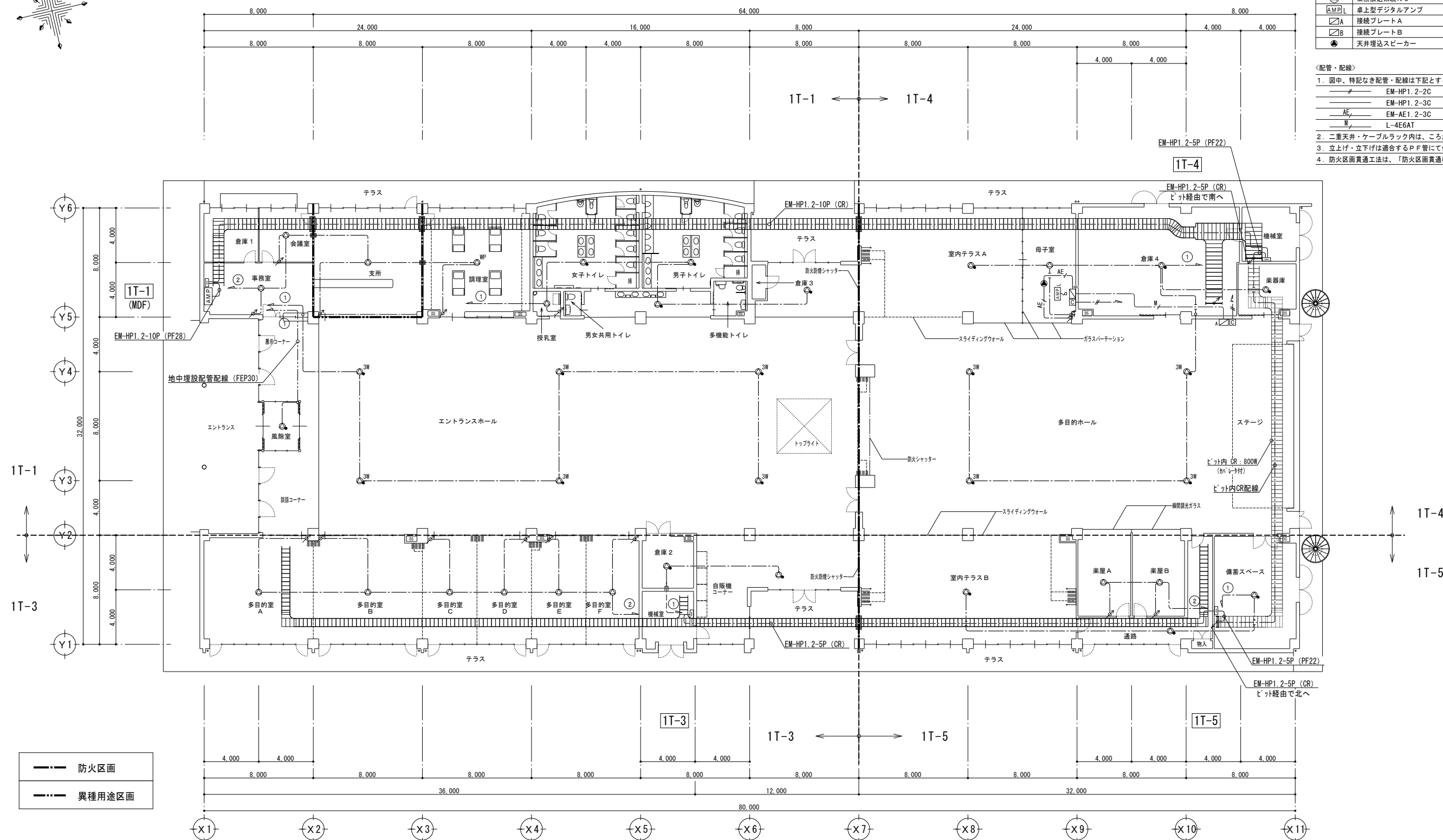
1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。

—	EM-HP1. 2-2C	(PF16)
—	EM-HP1. 2-3C	(PF16)
AE	EM-AE1. 2-3C	(PF16)
M	L-4E6AT	(PF16)

2. 二重天井・ケブルラック内は、ころがし配線とする。

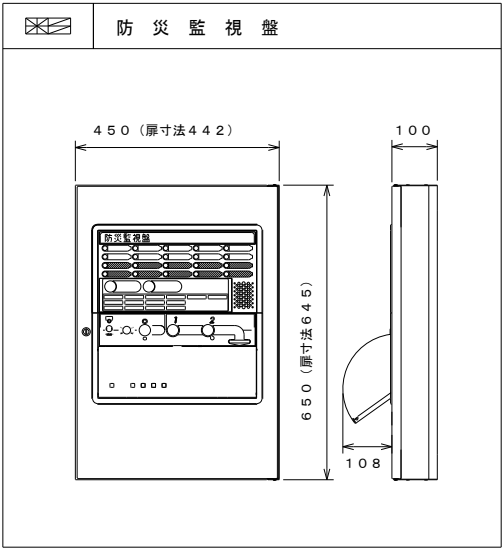
3. 立上げ・立下げは適合するP F 管にて保護の事。

4. 防火区画貫通工法は、「防火区画貫通標準図」による。



注	
記	
備	
考	

	文化交流センター新築工事	
	放送設備 1F平面図	図面番号: E-029
	S= 1/150 (A1)・1/300 (A3)	設 計 者: 1級建築士登録 陶山 大輝 第372383号
	株式会社 三座建築事務所	管理建築士: 1級建築士登録 百武 篤 第303543号

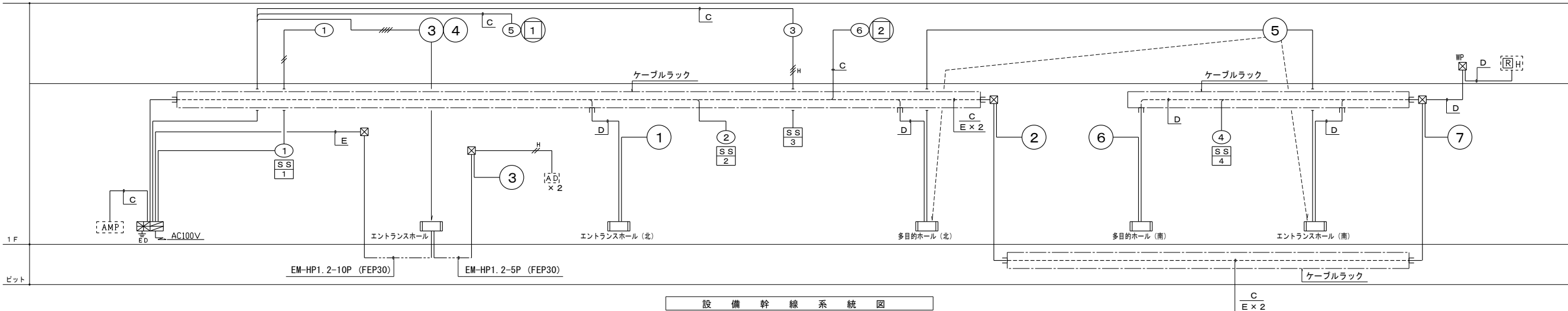


凡 例

記 号	名 称	記 事
	防 災 監 視 盤	P 型 1 級 合計 2 0 回 線 壁 掛 型 特 記 参 照
	機 器 収 容 箱	消 火 栓 箱 組 込 型 収 容
	免 信 機	P 型 1 級 フラット型表示灯付 消火設備に収納する取付加工は機械工事とする
	光 電 式 スポット型感知器	2 種
	差 動 式 スポット型感知器	2 種
	定 温 式 スポット型感知器	特 種 6 0 ℃ 防 水 型
	定 温 式 スポット型感知器	1 種 7 0 ℃ 防 水 型
	終 端 抵 抗	1 0 K
	消 火 栓 始 動 装 置	表示灯点滅装置 AC 2 0 0 V / 2 4 V 7 0 V A 消 火 栓 ポンプ制御盤組込
	非 常 放 送 ア ンプ	非常放送工事
	光 電 式 スポット型感知器	3 種
	危 害 防 止 用 連 動 中 継 器	防火シャッター用 DC 2 4 V 0 . 5 A 以下 建築工事
	自 動 閉 鎖 装 置	防煙垂れ壁降下用 DC 2 4 V 0 . 4 A 以下 建築工事
	配 管 配 線	天井いんべい
	配 管 配 線	ケーブル線
	配 管 配 線	床いんべい
	配 管 配 線	地中埋設
	配 管 配 線	立上り、引下げ、素通し
	ブ ル ボ ッ ク ス	
	警 戒 区 域 境 界 線	
	警 戒 区 域 番 号	N o . 1 ~ 7
	連 動 回 路 番 号	N o . 1 ~ 4
	制 御 回 路 番 号	N o . 1 ~ 4
	制 御 回 路 番 号	N o . 1 ~ 2

特 記

- 1) 防災監視盤の仕様は下記の通り。
- ・主音響
 - ー音声案内機能付
 - ー各種ナビゲーションを行う音声操作手順ガイダンス機能搭載
 - ・音声ガイダンス機能
 - ー色弱者対応・高齢者対応 (C U D O 認定品)
 - ・カラーユニバーサルデザイン
 - ー7セグメント表示 (最大1,200件)
 - U S B メモリーで履歴をP C 確認可能
 - ・履歴機能
 - ー遠隔試験機能付感知器最大16個接続可能 (専用中継器1台)、無線式感知器最大16個 (専用中継器2台) 接続可能
 - ・中継器電源標準搭載
 - ー地区音響短時間鳴動機能
 - 地区音響遠隔制御機能 (回線毎)
 - 施工支援機能 (発報信号無線機送信機能 ※専用治具使用時)
 - 加熱・煙熱試験を現地1名で対応 (省力化) 可能
 - ・保守・施工モード搭載
 - ーマルチスイッチ4点搭載 (マルチ移報、移報停止、ノンロックスイッチ)
 - 諸表示入力4点搭載
 - 一括連動移報停止スイッチ搭載
 - 終端抵抗回線別切替機能搭載 (1 0 k Ω / 2 0 k Ω)
 - P C データ設定プログラム機能搭載
 - ・その他機能
 - ー回線内訳
- | | |
|----------|-------|
| 自火報 | 7 L |
| 消火栓ポンプ運転 | 1 L |
| 消火栓ポンプ故障 | 1 L |
| 消火栓呼水槽減水 | 1 L |
| 防火シャッター | 4 L |
| 防火シャッター | 2 L |
| 予 備 | 4 L |
| 合 計 | 2 0 L |
- 2) 自動火災報知設備の地区警報は非常放送設備 (音声警報) によるものとし、防災監視盤から非常放送設備に対し、階別火災信号等及び火災確認信号を移報する。
- 3) 防災監視盤はオートドア制御盤へ火災一括信号 (無電圧 a 接点) を移報する。 (3ヶ所)
- 4) 危害防止用連動中継器の取り付けは建築 (シャッター) 工事とし、当該中継器への常用電源 A C 1 0 0 V 供給は別途電気工事とする。
- 5) 感知器取付け用吊り金具および金具取付工事までは別途電気工事とする。
- 6) 特記なき配管配線は下記の通りとする。
- | | | | |
|--|--------------|--|---------------------|
| | EM-AE 0.9-2C | | EM-AE 0.9-2C (PF16) |
| | EM-AE 0.9-4C | | EM-AE 0.9-4C (PF16) |
| | EM-HP 1.2-2C | | EM-HP 1.2-2C (PF16) |
| | EM-HP 1.2-3C | | EM-HP 1.2-3C (PF16) |
- A — EM-HP 1.2-2C (PF16)
B — EM-HP 1.2-4C (PF16)
C — EM-HP 1.2-3P (PF22)
D — EM-HP 1.2-5P (PF22)
E — EM-HP 1.2-10P (PF28)

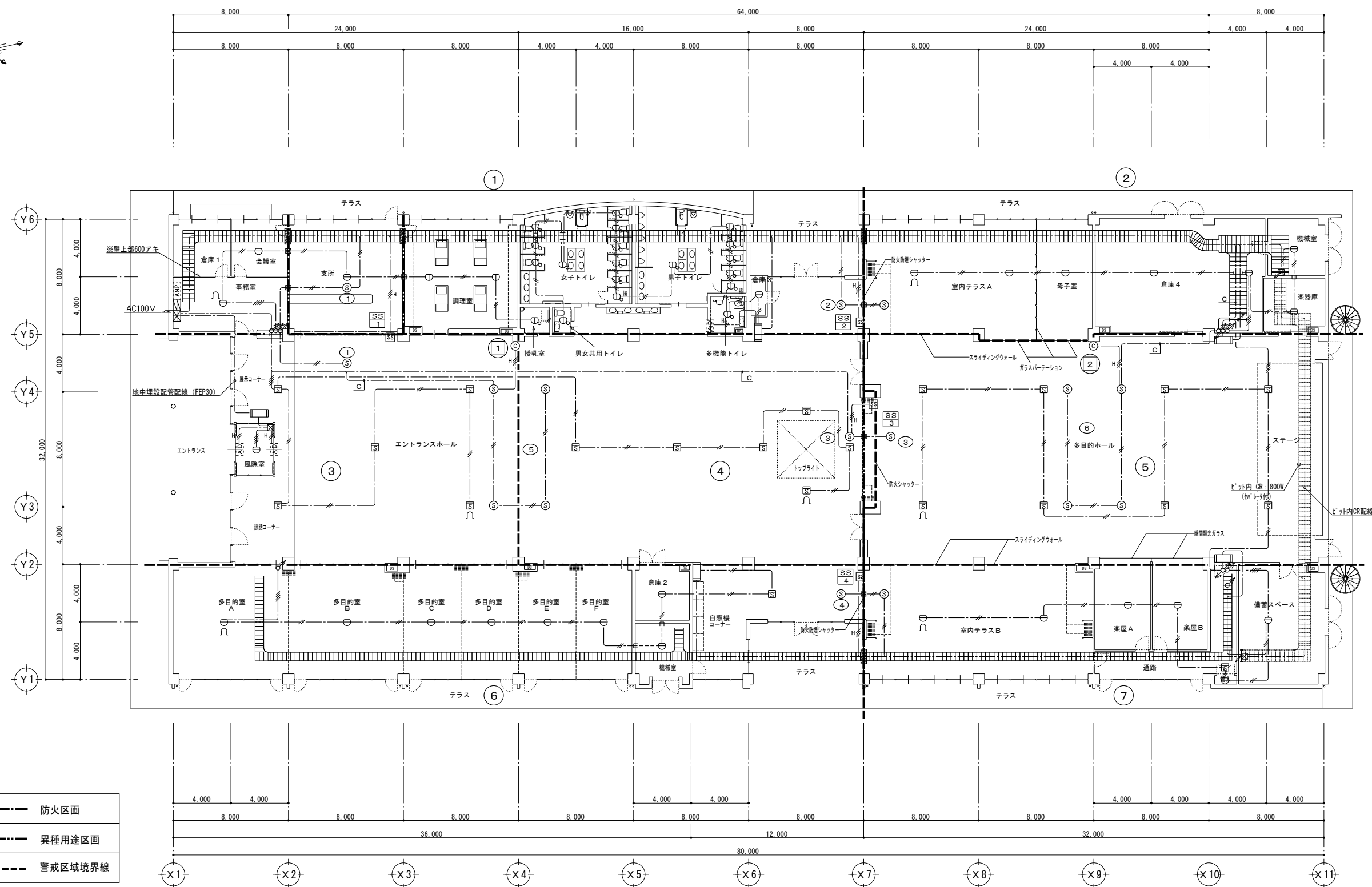
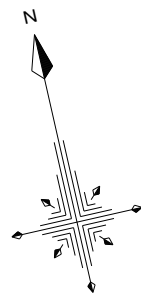


設 備 幹 線 系 統 図

注	
記	
・	
備	
考	



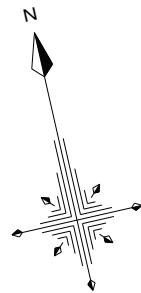
文化交流センター新築工事
自動火災報知設備 系統図・参考姿図 図面番号: E-030
S = N. S 設 計 者: 1 級 建 築 士 登 録 第 3 7 2 3 8 3 号 陶 山 大 輝
株 式 三 座 建 築 事 務 所 管 理 建 築 士: 1 級 建 築 士 登 録 第 3 0 3 5 4 3 号 百 武 篤

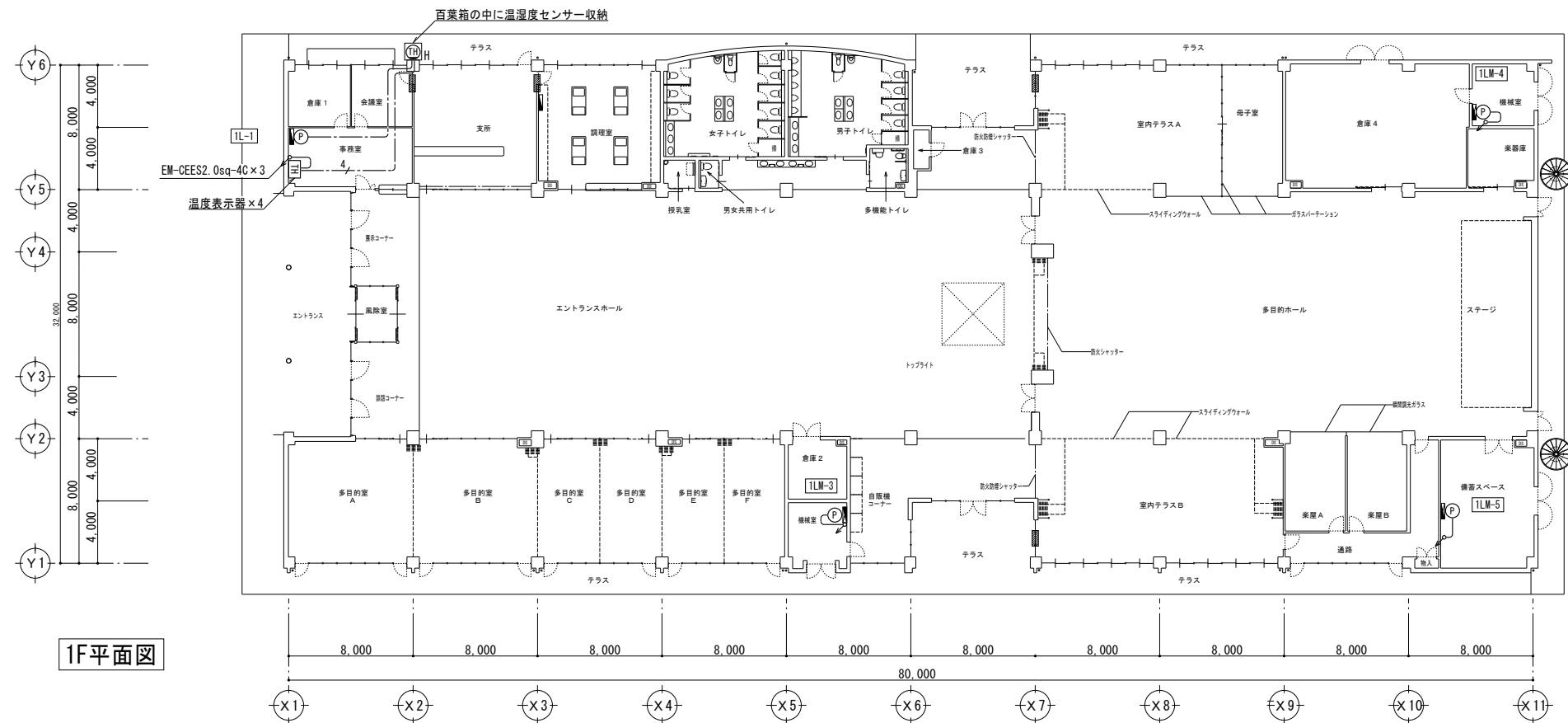


幹線（立上り、引下げ等）は系統図参照とする

注 記 ・ 備 考	

	文化交流センター新築工事	
	自動火災報知設備 1F平面図	
	図面番号：E-031	
	S= 1/150 (A1)・1/300 (A3)	
設計者：1級建築士登録 第372383号 陶山 大輝		
株式会社 三座建築事務所		
管理建築士：1級建築士登録 第303543号 百武 篤		







地下ピット平面図

記 号	名 称	備 考
(H)	温湿度センサー（壁付）	4-20mA信号出力
(TH)	温湿度表示器	
(P)	AC/DCコンバーター	盤内に設置（参考品番：S8VS）
□H	百葉箱	壁掛型

〈配管・配線〉

1. 図中、特記なき配管・配線は下記とする。
- | | | |
|---|----------------|--------------|
|  | EM-CES2.0sq-2C | (PF16) (E19) |
|  | EM-CES2.0sq-4C | (PF22) (G25) |
2. 二重天井・ケーブルラック内は、ころがし配線とする。
3. 防火区画貫通工法は、「防火区画貫通標準図」による。